

令和4年度

湖西市教育委員会

自己点検・評価報告書

令和5年12月

湖西市教育委員会

目 次

はじめに	1
I 令和4年度 湖西市教育委員会 基本姿勢と事業の展開	2
教育委員会組織	3
各課の仕事の概要	4
決算の概要	5
II 令和4年度 湖西市教育委員会の活動等における 点検・評価の概要	6
1 教育委員会の活動	6
2 教育委員会の審議案件	6
3 事業の概要	7
4 事務事業評価の概要	8
III 外部評価委員の意見	41
IV 総合評価	47

はじめに

本市教育委員会においては、今後の教育行政を総合的かつ計画的に推進するため、市の最上位計画である第6次湖西市総合計画「ひと・自然・業（わざ）」がつながり未来へ続く「わがまちKOSAI」における教育部門の計画として「第2次湖西市教育振興基本計画（2021年～2025年）」を策定した。

この計画は、『未来の湖西を創る“ひと”づくり』を基本理念とし、その理念に基づき「幼児・学校教育」・「生涯学習」・「生涯スポーツ」の3つの分野において基本目標を掲げ方針を明記し、諸事業の具現化を図り、学校教育及び生涯学習の充実をはじめ、教育環境の整備を推進する指標である。

令和4年度においても、本計画に基づき、教育委員会各課において諸事業に取り組み、その取組状況については、実績等の概要を取りまとめ、「事務事業評価」、「主要施策成果の説明書」として報告している。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会は、毎年、事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないと定められている。

そのため、本市教育委員会の令和4年度の活動及び施策に関する自己点検及び評価を実施し、報告書としてまとめる。

《参考》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

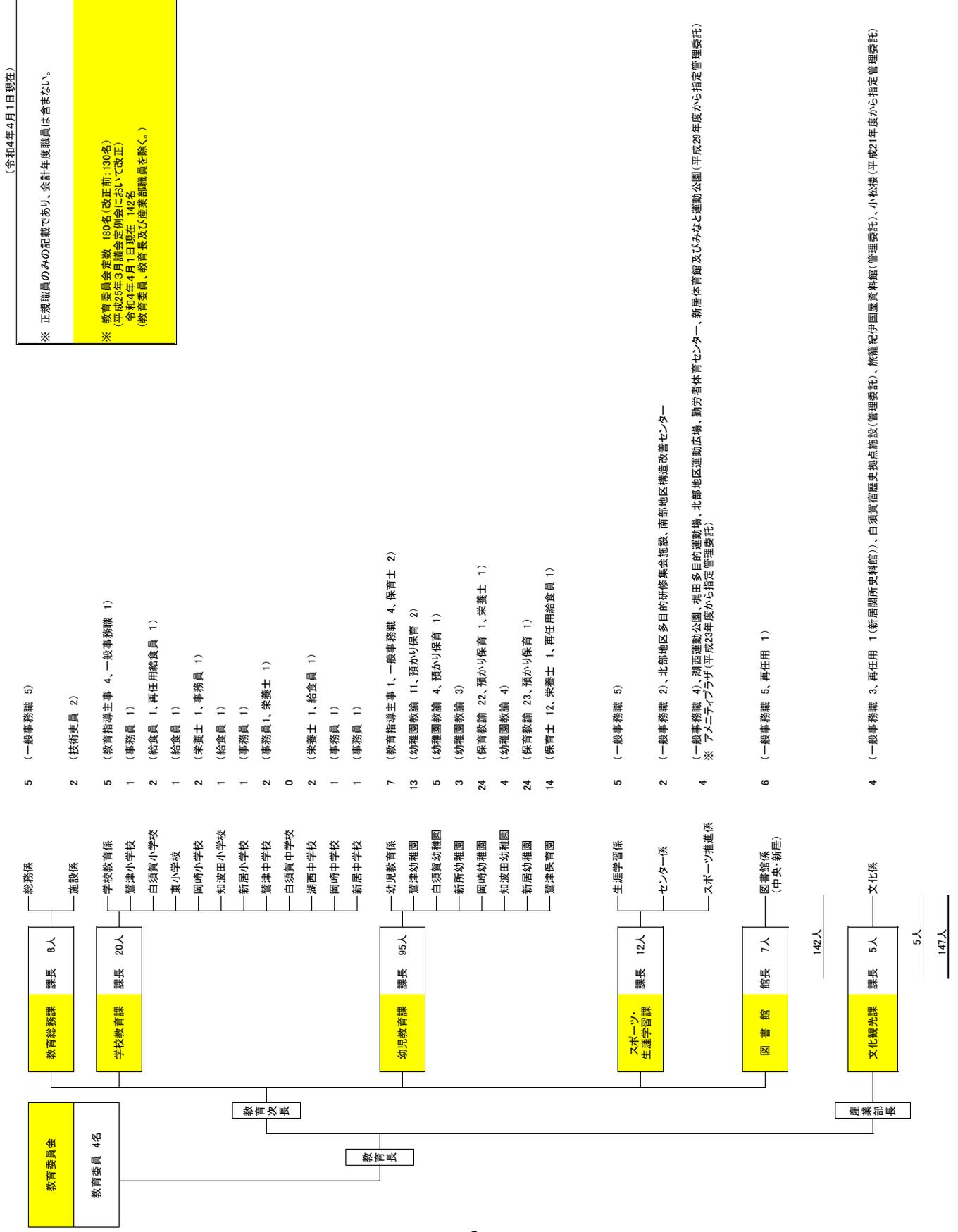
2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

令和4年度 湖西市教育委員会 基本姿勢と事業の展開

【 基本理念 】	【 目 標 】
<p>「未来の湖西を創るひとづくり」</p> <p>やさしい”ひと” 他人に対する思いやりや素直な気持ちを持ち、大切なものを愛する心をもったひと たくましい”ひと” 勇気や忍耐力があり、自己抑制力を持ち、不撓不屈のチャレンジ精神で、逆境を乗り越える力をもったひと ころざしある”ひと” 夢や情熱を持ち、その実現のために前向きに生きていくひとと、使命感、信念、正義感によって、自己を見失わず、己の道を進んでいくひと</p>	<p>基本目標1「幼児・学校教育」 自ら学ぶ力、生きる力をはぐくむ幼児・学校教育を推進します</p> <p>基本目標2「生涯学習」 生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります</p> <p>基本目標3「生涯スポーツ」 誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも頼り、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。</p>

基本目標	方 針
基本目標 1 「幼児・学校教育」 自ら学ぶ力、生きる力をはぐくむ幼児・学校教育を推進します	1 安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します
	2 質の高い学習環境を整備します
	3 時代に対応した教育行政を推進します
	4 基本的生活習慣の定着を通して自立する心を育みます
	5 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます
	6 一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます
	7 保育環境の充実に努めます
	8 魅力ある園・学校づくりの基盤として教職員の資質向上に取り組みます
	9 学習基盤の充実に努めます
	10 夢と信頼と充実感のある学校づくり、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます
	11 一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援に努めます
基本目標 2 「生涯学習」 生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくりま す	12 社会の急激な変化から派生した今日的な課題に的確に対応します
	13 地域とともに歩む学校づくりを推進します
	14 家庭教育を支援します
	15 地域における教育力向上のため、学校、家庭、地域等との連携を図ります
	16 青少年健全育成意識を醸成します
	17 ささまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境を整備します
	18 市民が集い結びあうセンター活動に努めます
	19 安全で安心な施設を管理・運営します《生涯学習・文化施設・図書館》
	20 文化財を保存活用します
	21 文化芸術を推進します
	22 情報拠点としての運営に努めます
	23 読書活動を推進します
	24 スポーツ活動を普及・推進します
	25 スポーツ環境を整備します

教育委員会組織（令和4年度）



令和4年度 各課の仕事の概要

部	課名	係名	仕事概要	
教育委員会事務局	教育総務課	総務係	公印の管守。教育委員会の招集、提出議案調整、議決事件処理。規則、規程などの公布。職員の人事、服務、給与、福利厚生。教材、教具の整備。豊田佐吉翁記念奨学金事業。育英奨学資金貸付事業。学校給食。総合教育会議。放課後児童健全育成事業。	
		施設係	学校等の財産の取得、処分。学校等の施設の整備、修繕、建設。施設整備に係る調査。学校等の施設の保守管理。学校等の施設の保守管理。	
	学校教育課	学校教育係	通学区。学籍。学級編制。教科書無償給与。学校経営の指導。教職員の服務・研修。教育課程。学校給食（指導）。学校保健及び安全。就学支援。特別支援教育。教育相談。生徒指導。転入学。	
	幼児教育課	幼児教育係	子ども・子育て支援制度に関すること。幼稚園・保育園・こども園に関する事務（入・退園を含む）。園経営の指導。教職員の服務・研修。保育・教育課程。	
	スポーツ・生涯学習課	生涯学習係	社会教育の企画。幼児・青少年・家庭・成人・高齢者教育の振興。地域社会教育の振興。青少年リーダーの育成。成人式。生涯学習の推進。青少年育成センターの運営。	
		センター係	西部地域センター、北部・南部構造改善施設の維持管理。講座の開催。センターまつりの開催。図書室業務。	
		スポーツ推進係	社会体育の企画推進。社会体育施設・学校体育施設開放の維持管理、運営。アメニティプラザ・湖西運動公園ほか5施設の監督管理。	
	図書館	図書館係	図書館の維持管理。図書館業務。読書活動の推進。	中央図書館
				新居図書館
	産業部	文化観光課	文化係	芸術文化の振興。白須賀宿歴史拠点施設の運営・維持管理。文化財保護。新居関所史料館の運営・維持管理。新居宿旅籠紀伊国屋資料館の運営・維持管理。新居関所跡の保存・整備。小松楼まちづくり交流館の運営・維持管理。

皆さんが納めた税金の使い道 令和4年度決算

問合せ先 財政課

TEL.053-576-1112

FAX.053-576-1115

皆さんが納めた税金がどのように使われたのか、令和4年度の決算の状況をお知らせします。

詳しくはウェブサイトからもご覧いただけます▶



令和4年度決算概要

一般会計

歳入歳出ともに前年度から増加しました。歳入においては、個人・法人市民税ともに経済活動が回復傾向にあり、増収となりました。

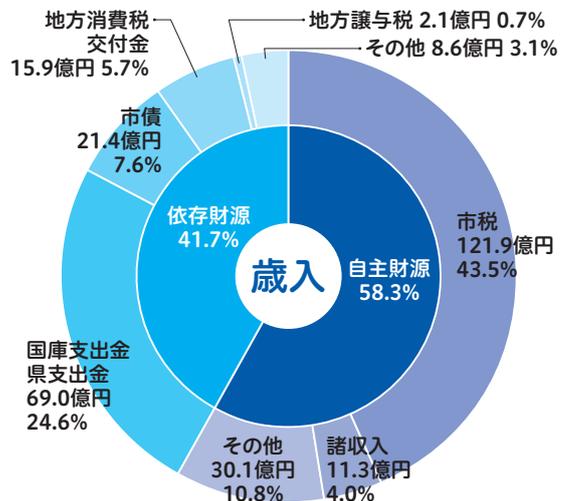
歳出は、物価高騰などによる市民生活や事業者への多大な影響を緩和するための支援を実施しました。

また、佐吉の郷・スタートアップ支援事業による市内の創業者に対する支援や子育て世帯に対する支援を拡充するなど、さらなる「職住近接」による持続可能な発展に向けた施策を実施しました。

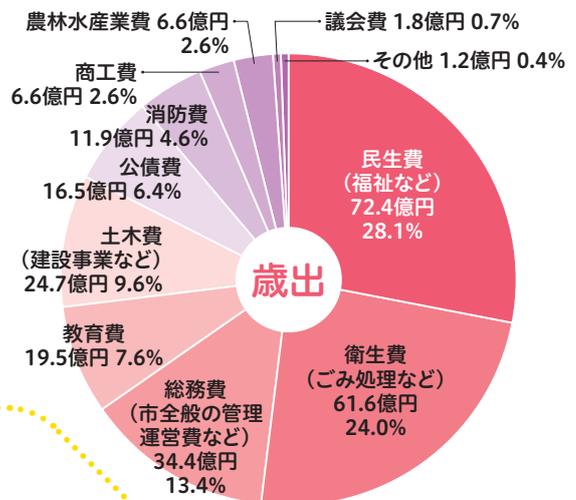
■各会計決算総括表(単位：億円)

会計	区分	歳入		歳出	差し引き (A - B)
		金額(A)	うち一般会計からの繰入金	金額(B)	
一般会計		280.3		257.2	23.1
特別会計	国民健康保険事業	55.8	3.2	52.6	3.2
	介護保険事業	43.1	6.1	39.4	3.7
	後期高齢者医療事業	8.3	1.4	8.3	0.0
企業会計	公共下水道事業	22.9	5.9	25.6	▲2.7
	水道事業	14.4	0.0	17.4	▲3.0
	病院事業	35.0	9.3	33.3	1.7
合計		459.8	25.9	433.8	26.0

■歳入決算額 280.3億円(前年度比4.4%増)



■歳出決算額 257.2億円(前年度比2.7%増)



歳出の主な使い道

■環境センターごみ焼却施設再稼働事業



■KOSAI Battery Park、バッテリーロード整備事業



■新型コロナウイルス対策



■GIGAスクール構想の推進



■放課後児童クラブの増設



■定住促進奨励金、市政50周年記念事業 など



Ⅱ 令和4年度 湖西市教育委員会の活動等における点検・評価の概要

1 教育委員会の活動

本市教育委員会を年11回開催し、規則等の制定及び改廃、予算その他の議会の議決に付すべき事件案に関する意見聴取、付属機関の委員の委任又は任命に関する事等について慎重に審議した。

教育委員研修については、定例会開催ごとに委員協議会を開催し、情報の提供と意見交換に努めるとともに、教育委員会を学校等の教育施設を会場に開催し、合わせて市内教育現場の視察を実施するなど、本市教育行政の実情把握と認識を深めた。

総合教育会議は、平成27年4月1日施行の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律第1条の4の規定により、市長と教育委員会が協議・調整する場として総合教育会議を設けると定められた。本年度の総合教育会議では、「モノづくり人材の育成」と「これからの小学校中学校について」市長と意見交換した。

2 教育委員会の審議案件

教育委員会が管理・執行する事務は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第21条に規定されている次に示す19項目の事務である。

- (1) 教育委員会の所管に属する第30条に規定する学校その他の教育機関（以下「学校その他の教育機関」という。）の設置、管理及び廃止に関する事。
- (2) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の用に供する財産（以下「教育財産」という。）の管理に関する事。
- (3) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関する事。
- (4) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関する事。
- (5) 教育委員会の所管に属する学校の組織編成、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関する事。
- (6) 教科書その他の教材の取扱いに関する事。
- (7) 校舎その他の施設及び教員その他の設備の整備に関する事。
- (8) 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関する事。
- (9) 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関する事。

- (10)教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。
- (11)学校給食に関すること。
- (12)青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。
- (13)スポーツに関すること。
- (14)文化財の保護に関すること。
- (15)ユネスコ活動に関すること。
- (16)教育に関する法人に関すること。
- (17)教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。
- (18)所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。
- (19)前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。

上記に基づき、規則等の制定及び改廃に関すること24件、予算その他議会の議決に関すること8件、職員（教職員）の人事に関すること3件、付属機関等の委員を任命または委嘱すること22件、その他自己点検・評価報告書の作成及び議会提出に関することなど1件、合わせて58件の議案について慎重に審議し、すべての案件について決定及び承認した。

3 事業の概要

令和4年度は、湖西市教育振興基本計画に掲げる教育委員会の基本理念である『未来の湖西を創る“ひと”づくり』において定めた基本目標と方針により、事業展開を行った。

各項目ごとの主な事業は次のとおりである。

資料編P.1からP.6 児童福祉費については、放課後児童クラブの運営、公立保育園等の管理、運営や民間保育所への運営費の支出及び事業等への助成を行った。

P.7からP.14 教育総務費については、教育委員会の運営、会計年度任用職員の雇用、教育指導関係事業等を行った。

P.15からP.23 小学校費・中学校費・幼稚園費については、教育環境の整備として、岡崎小学校トイレ改修工事や岡崎中学校武道場天井等落下防止対策工事など、各施設の維持・管理、修繕を行った。

P.23からP.31 社会教育費については、社会教育諸事業の推進に際し、関係諸団体はじめ、多くの市民の協力や参加をいただき、社会教育の推進及び青少年健全育成活動の促進、文化財の保護・保存・整備等に努めた。

P.32からP.34 図書館費については、図書館活動にかかる各種の事業や施設の修繕を実施し、図書館機能の充実を図った。

P.34からP.39 保健体育費については、体育施設の維持管理及びスポーツ教室の開催等により、市民スポーツ団体の育成や市民スポーツ活動の推進に努めた。

4 事務事業評価の概要

教育委員会の各課、館の主要事業について、事業ごとに評価の概要をまとめた。

湖西市教育振興基本計画の目標・方針

基本目標	番号	方針
基本目標 1 「幼児学校教育」	1	安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します
	2	質の高い学習環境を整備します
	3	時代に対応した教育行政を推進します
	4	基本的生活習慣の定着を通して自立する心を育みます
	5	夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます
	6	一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます
	7	保育環境の充実に努めます
	8	魅力ある園・学校づくりの基盤として教職員の資質向上に取り組みます
	9	学習基盤の充実に努めます
	10	夢と信頼と充実感のある学校づくり、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます
	11	一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援に努めます
	12	社会の急激な変化から派生した今日的な課題に的確に対応します
	13	地域とともに歩む学校づくりを推進します
基本目標 2 「生涯学習」	14	家庭教育を支援します
	15	地域における教育力向上のため、学校、家庭、地域等との連携を図ります
	16	青少年健全育成意識を醸成します
	17	さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境を整備します
	18	市民が集い結びあうセンター活動に努めます
	19	安全で安心な施設を管理・運営します《生涯学習・文化施設・図書館》
	20	文化財を保存活用します
	21	文化芸術を推進します
	22	情報拠点としての運営に努めます
	23	読書活動を推進します
基本目標 3 「生涯スポーツ」	24	スポーツ活動を普及・推進します
	25	スポーツ環境を整備します

自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、湖西市では本シートを用いて令和4年度の活動及び施策の自己点検及び評価を行う。	マトリックスの見方		↑ 実現度	A		★
	実現度	重要度		B		☆
	A…目標達成	A…非常に重要		C		
	B…概ね目標達成	B…重要	★4年度	C	B	A
	C…目標達成できない	C…やや低い	★3年度	重要度→		

各事業の目標・方針は教育振興基本計画に基づく

[教育総務課 事業評価の概要]

頁	事業名	令和4年度評価		備考
		重要度	実現度	
10	放課後児童健全育成事業	A	A	
10	公立保育所・こども園施設管理運営費	A	A	
11	教育委員会関係経費	A	A	
11	事務局関係経費	A	A	
11	豊田佐吉翁記念奨学金事業費	A	B	
12	育英奨学資金貸付事業費	B	B	
12	学校給食推進事業費	A	A	
12	教育施設整備費	A	A	
13	教育施設管理費	A	A	
13	各小学校管理運営費及び小学校施設管理運営費	A	A	
13	各小学校教育振興費	A	A	
14	教育扶助費（小学校）	A	A	
14	小学校施設整備費	A	A	
14	各中学校管理運営費及び中学校施設管理運営費	A	A	
15	各中学校教育振興費	A	A	
15	教育扶助費（中学校）	A	A	
15	一般諸経費（中学校部活動費交付金）	B	A	
16	中学校施設整備費	A	A	
16	幼稚園施設管理運営費	A	A	

事業名	放課後児童健全育成事業			資料編	1頁										
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	5 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます												
概要	子育て支援事業として、昼間保護者等がいない小学校の児童に対して、小学校の空き教室等を利用し、放課後に遊びや生活の場を与え、保育を委託により実施。														
令和4年度目標	クラブ登録児童数を544とする。														
令和4年度実績等	◇令和4年度の登録児童数 617人 ◇9クラブ13単位による運営。														
令和3年度実績等	◇令和3年度の登録児童数 516人 ◇8クラブ12単位による運営。														
課題及び今後の取り組み	地域によって登録児童数が定員に達しないクラブがあったが、全体としては目標達成となり、定員数についても、令和3年度実績から30人増加し、563人となった。今後、児童数は減っていくが、放課後児童クラブについては需要も高まると思われる。支援員・補助員不足及び受入体制の改善を図る。			評価	↑ 実現度	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td></td> <td>☆</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td>★</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>重要度→ ☆R4 ★R3</p>	A		☆	B		★	C	B	A
A		☆													
B		★													
C	B	A													
事業名	公立保育所・こども園施設管理運営費			資料編	6頁										
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1 安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します												
概要	保育園・こども園の保育環境の向上及び充実を図るため、施設管理を行う。														
4年度目標	保守点検委託等における点検実施率100%														
4年度実績等	◇3園の廃棄物処理を行い、清掃業務、廃棄物の収集運搬及び保守点検等を委託した。 ◇点検実施率100%														
3年度実績等	◇3園の廃棄物処理を行い、清掃業務、廃棄物の収集運搬及び保守点検等を委託した。 ◇点検実施率100%														
課題及び今後の取り組み	令和3年度からこども園化に伴い岡崎幼稚園を幼稚園施設管理運営費から公立保育所・こども園施設管理運営費に移管している。			評価	↑ 実現度	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td></td> <td>★★</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>重要度→ ☆R4 ★R3</p>	A		★★	B			C	B	A
A		★★													
B															
C	B	A													

事業名	教育委員会関係経費			資料編	7頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します		
概要	学校及び、その他の教育機関の職員の身分取扱、その他地方公共団体における教育行政の組織及び運営を定める会議を定例・臨時に開催する。				
4年度目標	教育委員会の開催回数12回				
4年度実績等	◇教育委員会の開催 定例会11回、臨時会0回 ◇教育委員研修会等への出席（オンライン開催）、市町教育委員会連絡総会協議会は書面開催、三遠南信教育サミット（浜松市）への出席 ◇総合教育会議の開催 1回				
3年度実績等	◇教育委員会の開催 定例会11回、臨時会0回 ◇教育委員研修会等への出席 市町教育委員会連絡総会協議会は書面開催、三遠南信教育サミット（愛知県田原市）は中止 ◇総合教育会議の開催 1回				
課題及び今後の取り組み	教育委員会の会議録や活動内容の積極的な情報公開を図り開かれた委員会を目指す。 総合教育会議は、市長と教育の課題などについて情報を共有し、継続的に意見交換を行って教育施策に反映させる。	評価	↑ 実現度	A	★☆☆
				B	
				C	A
				重要度→ ☆☆R4 ★R3	
事業名	事務局関係経費			資料編	8頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します		
概要	教育行政の推進を図るため、教育長等の各種研修会や協議会への出席。市内各小学校・中学校の会計年度任用職員を雇用し、教育行政の円滑な運営を図る。				
4年度目標	会計年度任用職員の雇用人数33人				
4年度実績等	◇会計年度任用職員の雇用を33人、延べ34人行った。 ◇各種負担金の支出により、他組織等との連携・協議を図った。				
3年度実績等	◇会計年度任用職員の雇用を33人、延べ37人行った。 ◇各種負担金の支出により、他組織等との連携・協議を図った。				
課題及び今後の取り組み	緊急を要する会計年度任用職員の雇用確保が難しく、今後も令和8年度末までに整備が予定されている学校給食センターも視野に、給食調理業務の委託化の拡充を検討する。	評価	↑ 実現度	A	★☆☆
				B	
				C	A
				重要度→ ☆☆R4 ★R3	
事業名	豊田佐吉翁記念奨学金事業費			資料編	9頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します		
概要	優良な生徒であって、経済的理由により修学が困難な者に対し、豊田佐吉翁記念奨学金の運用益等により、奨学援助を行い社会に有用な人材を育成する。				
4年度目標	奨学金の給付人数14人				
4年度実績等	◇大学生8人、高校生1人に奨学金1,212千円を交付（大学生12,000円/月、高校生5,000円/月） ◇選考委員会の開催 2月14日 ◇豊田家に謝恩の意を伝える会の実施（湖西市妙立寺） 8月5日 7名参加				
3年度実績等	◇大学生11人、高校生2人に奨学金1,704千円を交付（大学生12,000円/月、高校生5,000円/月） ◇選考委員会の開催 2月14日 ◇豊田家に謝恩の意を伝える会の実施（湖西市妙立寺） 8月18日 7名参加				
課題及び今後の取り組み	利率の低迷により運用益だけでの運営ができない状況である。 今後の奨学金の運用について検討する。	評価	↑ 実現度	A	
				B	★☆☆
				C	A
				重要度→ ☆☆R4 ★R3	

事業名	育英奨学資金貸付事業費			資料編	9頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します		
概要	優良な生徒であって、経済的理由により修学が困難な者に対し、無利子で奨学資金の貸付けを行い、社会に有用な人材を育成する。				
4年度目標	貸付人数4人				
4年度実績等	◇貸付人数 3人。新規大学生1人、継続大学生2人に貸付けを行った。 (大学生50,000円/月、高校生15,000円/月)				
3年度実績等	◇貸付人数 4人。新規貸付者 2人。継続高校生1人、継続大学生1人に貸付けを行った。 (大学生50,000円/月、高校生15,000円/月)				
課題及び今後の取り組み	給付型の奨学金を求める家庭が多い傾向にある。貸付型の奨学金への新規応募者が減少している現状を踏まえ、制度の見直しや市民への周知について検討が必要である。令和2年度から選考基準を、部活動や学校活動等で実績がある者についても選考対象とするように変更した。	評価	↑ 実現度	A	
	新規応募者の状況 H30 1人、R1 1人、R2 2人、R3 1人、R4 0人 (選考年度)			B	★☆
				C	B A
				重要度→ ☆R4 ★R3	
事業名	学校給食推進事業費			資料編	13頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1 安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します		
概要	各小学校・中学校における給食業務の衛生管理を徹底し、安定した給食を提供する。				
4年度目標	保菌・食品検査の実施率100%				
4年度実績等	◇保菌・食品検査の実施率100% ◇鷺津小学校・岡崎小学校・新居小学校・鷺津中学校・岡崎中学校・新居中学校の給食業務委託 ◇学校給食費等物価高騰対策として、全小中学校の学校給食会計へ給食費の物価高騰分を補助した。				
3年度実績等	◇保菌・食品検査の実施率100% ◇鷺津小学校・岡崎小学校・新居小学校・鷺津中学校・岡崎中学校・新居中学校の給食業務委託				
課題及び今後の取り組み	緊急を要する会計年度任用職員（給食員）の雇用確保が難しいため、各小学校・中学校の給食調理業務の委託化の拡充を検討する。	評価	↑ 実現度	A	★☆
				B	
				C	B A
				重要度→ ☆R4 ★R3	
事業名	教育施設整備費			資料編	13頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1 安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します		
概要	小中学校等の教育環境の向上及び充実を図るため、施設整備を行う。学校給食施設を、学校給食施設整備基本計画に基づき、令和8年度までに整備する。				
4年度目標	湖西市学校給食センター整備・運営事業 実施方針・要求水準書（案）の作成、建設地における地質調査・測量業務等の実施。				
4年度実績等	◇令和4年12月に実施方針等の公表を行った。 その他、事業者との直接対話及び実施方針等に関する質問への回答を実施。 ◇建設地における地質調査・測量業務等を予定通り実施。				
3年度実績等	◇湖西市学校給食施設整備基本計画作成業務 9,862千円（令和2年度繰越含む） 令和2年度より業務を開始し、令和3年12月までの工期であったが、予定通り100%完了した。				
課題及び今後の取り組み	特定事業の選定、募集要項等の公表、事業者との直接対話及び募集要項等に関する質問への回答を行い、事業者の選定を実施していく。	評価	↑ 実現度	A	★☆
				B	
				C	B A
				重要度→ ☆R4 ★R3	

事業名	教育施設管理費			資料編	14頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1	安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します	
概要	保育園1園、こども園2園、幼稚園4園、小学校6校、中学校5校の施設維持				
4年度目標	教育施設内での修繕件数80件				
4年度実績等	◇5園11校で81件の修繕を行った。				
3年度実績等	◇7園11校で98件の修繕を行った。				
課題及び今後の取り組み	財政上の問題もあり、大規模修繕は各幼稚園・小中学校の要望には十分な対応ができていない。計画的な修繕を進めるため、今後、予算の確保に努める。	評価		↑ 実現度 A B C	☆☆ 重要度→ ☆R4 ★R3
事業名	各小学校管理運営費及び小学校施設管理運営費			資料編	15頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	2	質の高い学習環境を整備します	
概要	小学校教育及び児童の健全な教育環境の維持及び充実を図るため、消耗品、光熱水費、施設の清掃・保守委託、備品購入費等の経費を計上し、小学校施設の適切な管理運営を行う。				
4年度目標	保守点検委託等における点検実施率100%				
4年度実績等	◇湖西市全小学生2,770人（令和4年5月1日現在） ◇小学校の運営費として計173,704千円（62,709円/人）を執行した。 ◇GIGAスクール構想の推進に伴い、ICT支援員の配置を行った。 ◇点検実施率100%				
3年度実績等	◇湖西市全小学生2,963人（令和3年5月1日現在） ◇小学校の運営費として計160,893千円（54,301円/人）を執行した。 ◇GIGAスクール構想の推進に伴い、高速インターネット回線の導入やICT支援員の配置を行った。 ◇点検実施率100%				
課題及び今後の取り組み	令和3年度から、一人一台タブレットパソコンの本格運用を開始した。活用が進むようICT支援体制を強化していく必要がある。	評価		↑ 実現度 A B C	☆☆ 重要度→ ☆R4 ★R3
事業名	各小学校教育振興費			資料編	16頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	2	質の高い学習環境を整備します	
概要	小学校教育の振興を図るため、必要な教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入し教育振興の充実を図る。				
4年度目標	購入図書冊数の前年度比100%				
4年度実績等	◇湖西市全小学生2,770人（令和4年5月1日現在） ◇各小学校計で8,221千円（2,968円/人）の教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入した。 ◇6校で697冊の図書を購入。前年度比123.4%。				
3年度実績等	◇湖西市全小学生2,963人（令和3年5月1日現在） ◇各小学校計で7,456千円（2,516円/人）の教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入した。 ◇6校で565冊の図書を購入。前年度比72.2%。				
課題及び今後の取り組み	財政上の問題もあり、各小学校の要望には十分な対応ができていない。教育振興費は、学力向上の基幹であり、今後、予算の確保に努める。	評価		↑ 実現度 A B C	☆ ★ 重要度→ ☆R4 ★R3

事業名	教育扶助費（小学校）			資料編	17頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します		
概要	小学校における教育の円滑な実施を図るため、経済的理由等により就学困難な児童の保護者・特別支援学級に就学する児童の保護者に対し、必要な学用品・通学用品費等を援助する。				
4年度目標	援助の支給人数161人				
4年度実績等	◇就学援助費補助として57人に3,272千円補助した。 ◇特別支援教育就学奨励費補助として138人に5,023千円補助した。				
3年度実績等	◇就学援助費補助として49人に2,943千円補助した。 ◇特別支援教育就学奨励費補助として120人に4,209千円補助した。				
課題及び今後の取り組み	新入学用品費の入学前支給について検討し、平成31年4月から市内小学校に入学予定の児童に対し、新入学用品費の入学前支給を実施した。 時代を反映し増加傾向にあり、また貧困家庭対策の一環として社会的重要性が増しているため、対象費目の拡大、効果的な支給時期等を検討する必要がある。	評価	↑ 実現度	A B C	★☆☆ 重要度→ ☆R4 ☆R3
事業名	小学校施設整備費			資料編	17頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1 安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します		
概要	小学校の教育環境の向上及び充実を図るため、施設整備を行う。				
4年度目標	工事中における児童の安全確保と学校業務の円滑な進行における達成率100%				
4年度実績等	◇岡崎小学校トイレ改修工事 80,575千円 8月に工事を開始し、2月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。 ◇岡崎小学校南校舎特別支援教室改修工事 3,874千円 3月に工事を開始し、3月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。				
3年度実績等	◇東小学校トイレ改修工事 46,750千円 4月に工事を開始し、8月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。 ◇新居小学校体育館外壁・屋根改修事業 45,991千円 10月に工事を開始し、2月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。 ◇岡崎小学校北校舎特別支援教室改修工事 4,180千円 3月に工事を開始し、3月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。				
課題及び今後の取り組み	施設整備には多くの予算が必要となるため、計画的な予算確保と執行を行う。 まずは、児童の安心・安全面を優先して事業計画し、よりよい教育環境の充実をめざして施設整備を進める。 公共施設再配置計画と学校施設長寿命化計画に基づき、教育施設の改修等計画を今後検討する。	評価	↑ 実現度	A B C	★☆☆ 重要度→ ☆R4 ☆R3
事業名	各中学校管理運営費及び中学校施設管理運営費			資料編	18頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	2 質の高い学習環境を整備します		
概要	中学校生徒の健全な教育環境の維持及び充実を図るため、消耗品、燃料費、光熱水費、施設の清掃・保守委託、備品購入費等の経費を計上し、中学校施設の適切な管理運営を行う。				
4年度目標	保守点検委託等における点検実施率100%				
4年度実績等	◇湖西市全中学生1,501人（令和4年5月1日現在） ◇中学校の運営費として計151,455千円（100,903円/人）を執行した。 ◇GIGAスクール構想の推進に伴い、ICT支援員の配置を行った。 ◇点検実施率100%				
3年度実績等	◇湖西市全中学生1,516人（令和3年5月1日現在） ◇中学校の運営費として計133,812千円（88,266円/人）を執行した。 ◇GIGAスクール構想の推進に伴い、高速インターネット回線の導入やICT支援員の配置を行った。 ◇点検実施率100%				
課題及び今後の取り組み	令和3年度から、一人一台タブレットパソコンの本格運用を開始した。活用が進むようICT支援体制を強化していく必要がある。 令和2年度から、保育園・幼稚園・小学校・中学校の大規模施設修繕については教育施設管理費に事業を移管し、一括で管理している。	評価	↑ 実現度	A B C	★☆☆ 重要度→ ☆R4 ☆R3

事業名	各中学校教育振興費		資料編	19頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	2 質の高い学習環境を整備します	
概要	中学校における中等普通教育に必要な教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入し、教育振興の整備充実を図る。			
4年度目標	購入図書冊数の前年度比100%			
4年度実績等	◇湖西市全中学生1,501人（令和4年5月1日現在） ◇各中学校計で10,293千円（6,857円/人）の教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入した。 ◇5校で1,046冊の図書を購入。前年度比135.7%。			
3年度実績等	◇湖西市全中学生1,516人（令和3年5月1日現在） ◇各中学校計で10,981千円（7,243円/人）の教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入した。 ◇5校で771冊の図書を購入。前年度比75.9%。			
課題及び今後の取り組み	財政上の問題もあり、各中学校の要望には十分な対応ができていない。教育振興費は、学力向上の基幹であり、今後、予算の確保に努める。	評価	↑ 実現度	A ☆ B ★ C B A 重要度→ ☆R4 ★R3
事業名	教育扶助費（中学校）		資料編	20頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します	
概要	中学校における教育の円滑な実施を図るため、経済的理由等により就学に必要な学用品・通学用品費等を補助する。			
4年度目標	支給人数75人			
4年度実績等	◇就学援助費補助として42人に3,565千円補助した。 ◇特別支援教育就学奨励費補助として46人に2,440千円補助した。			
3年度実績等	◇就学援助費補助として35人に3,219千円補助した。 ◇特別支援教育就学奨励費補助として41人に2,040千円補助した。			
課題及び今後の取り組み	新入学用品費の入学前支給について検討し、平成31年4月から市内中学校に入学予定の児童に対し、新入学用品費の入学前支給を実施した。 時代を反映し増加傾向にあり、また貧困家庭対策の一環として社会的重要性が増しているため、対象費目の拡大、効果的な支給時期等を検討する必要がある。	評価	↑ 実現度	A ★☆ B C B A 重要度→ ☆R4 ★R3
事業名	一般諸経費（中学校部活動費交付金）		資料編	20頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します	
概要	中学校の部活動を育成し、生徒の体力・知力の向上及び学校教育の充実を図るため、部活動に要する経費を補助する。			
4年度目標	交付金交付のクラブ件数54クラブ			
4年度実績等	◇クラブ数、部員数割として54クラブ、部員数1,453人に計3,940千円を交付した。			
3年度実績等	◇クラブ数、部員数割として54クラブ、部員数1,479人に計4,167千円を交付した。			
課題及び今後の取り組み	選手派遣事業は交通費・宿泊費の1/2以内の交付であり、全額負担ではないので生徒の保護者負担が発生する。	評価	↑ 実現度	A ★☆ B C B A 重要度→ ☆R4 ★R3

事業名	中学校施設整備費			資料編	21頁																		
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1 安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します																				
概要	中学校の教育環境の向上及び充実を図るため、施設整備を行う。																						
4年度目標	工事中における生徒の安全確保と学校業務の円滑な進行における達成率100%																						
4年度実績等	◇岡崎中学校武道場天井等落下防止対策事業 26,730千円 11月に工事を開始し、3月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。																						
	◇岡崎中学校南校舎特別支援教室改修工事 1,279千円 3月に工事を開始し、3月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。																						
3年度実績等	事業なし																						
課題及び今後の取り組み	施設整備には多くの予算が必要となるため、計画的な予算確保と執行を行う。 まずは、生徒の安心・安全面を優先して事業計画し、よりよい教育環境の充実をめざして施設整備を進める。 公共施設再配置計画と学校施設長寿命化計画に基づき、教育施設の改修等計画を今後検討する。			評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">↑ 実現度</td> <td>A</td> <td></td> <td>☆</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">重要度→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">☆R4 ★R3</td> <td></td> </tr> </table>	↑ 実現度	A		☆	B			C	B	A	重要度→				☆R4 ★R3			
↑ 実現度	A		☆																				
	B																						
	C	B	A																				
重要度→																							
☆R4 ★R3																							
事業名	幼稚園施設管理運営費			資料編	23頁																		
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1 安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します																				
概要	幼稚園の保育環境の向上及び充実を図るため、施設管理を行う。																						
4年度目標	保守点検委託等における点検実施率100%																						
4年度実績等	◇4園の廃棄物処理を行い、清掃業務、廃棄物の収集運搬及び保守点検等を委託した。																						
	◇点検実施率100%																						
3年度実績等	◇4園の廃棄物処理を行い、清掃業務、廃棄物の収集運搬及び保守点検等を委託した。 ◇点検実施率100%																						
課題及び今後の取り組み	令和3年度から、こども園化に伴い岡崎幼稚園を幼稚園施設管理運営費から公立保育所・こども園施設管理運営費に移管している。			評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">↑ 実現度</td> <td>A</td> <td></td> <td>★☆</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">重要度→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">☆R4 ★R3</td> <td></td> </tr> </table>	↑ 実現度	A		★☆	B			C	B	A	重要度→				☆R4 ★R3			
↑ 実現度	A		★☆																				
	B																						
	C	B	A																				
重要度→																							
☆R4 ★R3																							

[学校教育課 事業評価の概要]

頁	事業名	令和4年度評価		備考
		重要度	実現度	
18	教育指導関係経費（教育指導関係事業）	A	B	
19	学校保健衛生費	A	A	
19	指導資料作成事業費	A	A	
20	研究指定事業費（小中学校指定「特色ある学校づくり」推進事業）	A	B	

事業名	教育指導関係経費（教育指導関係事業）		資料編	9頁									
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	11 一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援に努めます										
概要	各小学校・中学校での学校教育の充実を図るため、教育指導に関わる諸事業を推進する。												
令和4年度目標	就学支援事業 学校・幼稚園・保育園への就学相談延べ回数70回 学校教育運営事業 指導主事県教育委員会主催の研修への延べ参加回数35回 生きた英語教育推進事業 学校教育課事業評価において11校中、A・Bと答える学校の割合100% 外国人児童生徒支援事業 学校教育課事業評価において11校中、A・Bと答える学校の割合100% 不登校児童生徒適応教室事業 入級児童生徒の出席率 50% 語らい読書推進事業 巡回図書延べ冊数 4,680冊 特別支援教育推進事業 巡回相談員の小中学校訪問22回 特別支援教育支援員32人配置 いじめ対策連絡協議会事業 連絡協議会 年間2回実施												
令和4年度実績等	◇就学支援事業 学校・幼稚園・保育園への就学相談延べ回数70回 ◇学校教育運営事業 指導主事県教育委員会主催の研修への延べ参加回数33回 ◇生きた英語教育推進事業 学校教育課事業評価において11校中、A・Bと答える学校の割合100% ◇外国人児童生徒支援事業 学校教育課事業評価において11校中、A・Bと答えた学校の割合100% ◇不登校児童生徒適応教室事業 入級児童生徒出席率 42% ◇語らい読書推進事業 巡回図書延べ冊数 4,680冊 ◇特別支援教育推進事業 巡回相談員の小中学校訪問22回 特別支援教育支援員32人配置 ◇いじめ対策連絡協議会事業 連絡協議会 年間2回実施												
令和3年度実績等	◇就学支援事業 学校・幼稚園・保育園への就学相談延べ回数75回 ◇学校教育運営事業 指導主事県教育委員会主催の研修への延べ参加回数30回 ◇生きた英語教育推進事業 学校教育課事業評価において11校中、A・Bと答える学校の割合100% ◇外国人児童生徒支援事業 学校教育課事業評価において11校中、A・Bと答えた学校の割合100% ◇不登校児童生徒適応教室事業 入級児童生徒出席率 45% ◇語らい読書推進事業 巡回図書延べ冊数 4,680冊 ◇特別支援教育推進事業 巡回相談員の小中学校訪問22回 特別支援教育支援員31人配置 ◇いじめ対策連絡協議会事業 連絡協議会 年間2回実施												
課題及び今後の取り組み	令和3年度より白須賀小学校に特別支援学級肢体が開設された。新入生入学に対応するため、特別支援教育支援員を令和3年度に1人、令和4年度に1人を増員し、きめ細かい指導ができるように対応している。 外国人児童生徒数は、増加傾向が続いている。自動翻訳機を活用したり、指導員、通訳員を派遣したりして対応している。どの学校にも、外国人児童生徒が在籍する傾向にあり、対応が難しくなっている。 いじめ、不登校など生徒指導上の問題を抱えているケースが増加している。弁護士、心理士などの専門家の活用が必要とされている。		評価	↑ 実現度 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td>★☆</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> </table> 重要度→ ☆R4 ★R3	A			B		★☆	C	B	A
A													
B		★☆											
C	B	A											

事業名	学校保健衛生費		資料編	11頁															
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	12 社会の急激な変化から派生した今日的な課題に的確に対応します																
概要	学校保健安全法に基づき、児童生徒、園児及び教職員の健康保持増進のため定期健康診断やけが補償等への対応を行う。 また、法令の趣旨に従って、校医の配置、定期健康診断を実施する。																		
令和4年度目標	児童生徒・教職員の受診率 100%																		
令和4年度実績等	◇校医配置 学校内科医33人、学校眼科医11人、学校耳鼻科医11人、学校歯科医21人、学校薬剤師11人 ◇児童生徒定期健診（内科・眼科・耳鼻科・歯科）11校 年1回 就学時健診 小学校6校 ◇薬学講座 小学校6回・中学校5回 ◇教職員健康診断 生活習慣病検診130人、指定年齢検診30人、胸部X線検査130人 ◇役務 市長会・日本スポーツ振興センター共済加入 児童生徒・教職員の受診率 100%																		
令和3年度実績等	◇校医配置 学校内科医33人、学校眼科医11人、学校耳鼻科医11人、学校歯科医21人、学校薬剤師11人 ◇児童生徒定期健診（内科・眼科・耳鼻科・歯科）11校 年1回 就学時健診 小学校6校 ◇薬学講座 小学校6回・中学校5回 ◇教職員健康診断 生活習慣病検診137人、指定年齢検診45人、胸部X線検査137人、ストリック50人 ◇役務 市長会・日本スポーツ振興センター共済加入 児童生徒・教職員の受診率 100%																		
課題及び今後の取り組み	法に基づくものであり、適正に実施していることが肝要である。定期検診等に関しては、今後も学校保健会、医会と相談しながら、改善できるところは善処しながら進めていく必要がある。令和4年度には、学校医が学校規模に対して足りないという医会からの要望があったため、令和5年度に1人増員している。	評価	↑ 実現度	<table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td>★☆</td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> <tr><td colspan="3">重要度→</td></tr> <tr><td colspan="3">☆R4 ★R3</td></tr> </table>	A		★☆	B			C	B	A	重要度→			☆R4 ★R3		
A		★☆																	
B																			
C	B	A																	
重要度→																			
☆R4 ★R3																			
事業名	指導資料作成事業費		資料編	11頁															
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	10 夢と信頼と充実感のある学校づくり、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます																
概要	小学校社会科副読本「わたしたちの湖西」の指導資料作成作業																		
令和4年度目標	指導資料作成事業	副読本の活用率100%																	
令和4年度実績等	◇指導資料作成事業	ワークシートや評価テストの検討、作成																	
令和3年度実績等	◇指導資料作成事業	新副読本での授業開始、指導資料の作成																	
課題及び今後の取り組み	令和3年度より新副読本を使用している。令和4年度は、ワークシートの検討、作成をした。を令和5年度から、令和7年度以降使用する副読本準備していく。取材や編集作業等、作成委員にかかる負担が大きいため、改訂委員会の運営方法、日程の組み方を工夫していく。	評価	↑ 実現度	<table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td>★☆</td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> <tr><td colspan="3">重要度→</td></tr> <tr><td colspan="3">☆R4 ★R3</td></tr> </table>	A		★☆	B			C	B	A	重要度→			☆R4 ★R3		
A		★☆																	
B																			
C	B	A																	
重要度→																			
☆R4 ★R3																			

事業名	研究指定事業費（小中学校指定「特色ある学校づくり」推進事業）		資料編	12頁									
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	10 夢と信頼と充実感のある学校づくり、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます										
概要	家庭教育の充実を目指す学びの基礎づくりや児童生徒や地域の実態に応じた活動、思い出となる行事など、特色ある学校づくりを推進し、地域、家庭と協力し、子どもの健やかな成長を図る。												
令和4年度目標	学校の授業がわかると答える児童の割合93%、生徒の割合85%												
令和4年度実績等	<p>◇外部講師を依頼した授業や体験学習を各小中学校の特色に応じて実施（特色ある学校づくり）</p> <p>◇小中学生の発達段階に合わせた「学びの基礎7つの取組」の改訂 クリアファイルを活用した保護者への啓発（学びの基礎づくり）</p> <p>◇各中学校の計画に基づいて、スキー教室、体験学習等を実施（思い出に残る1学校1行事創造）※コロナ感染症拡大防止のため未実施の学校あり</p> <p>学校の授業がわかると答える児童の割合90.2%、生徒の割合83.9%</p>												
令和3年度実績等	<p>◇外部講師を依頼した授業や体験学習を各小中学校の特色に応じて実施（特色ある学校づくり）</p> <p>◇小中学生の発達段階に合わせた「学びの基礎7つの取組」の改訂 クリアファイルを活用した保護者への啓発（学びの基礎づくり）</p> <p>◇各中学校の計画に基づいて、スキー教室、体験学習等を実施（思い出に残る1学校1行事創造）※コロナ感染症拡大防止のため未実施の学校あり</p> <p>学校の授業がわかると答える児童の割合91.9%、生徒の割合84.2%</p>												
課題及び今後の取り組み	「特色ある学校づくり」推進事業は、子どもの実態に合わせて、重点項目を設定し、豊かな体験をすることで、知・徳・体のバランスのとれたの人格形成に役立っている。令和4年度もコロナ禍であったが、子どもたちの豊かな学びを実現するため、感染対策をした上で、各校で工夫して取り組みを進めることができた。地域のひと・もの・ことに触れ、自分の見方・考え方を広げる機会となるように、目的やねらいを教職員で共通理解し、各校で特色ある学校づくりを進めていく必要がある。	評価	↑ 実現度	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td>★☆</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>重要度→ ☆R4 ★R3</p>	A			B		★☆	C	B	A
A													
B		★☆											
C	B	A											

[幼児教育課 事業評価の概要]

頁	事業名	令和4年度評価		備考
		重要度	実現度	
22	民間保育所等助成事業費	A	A	
23	公立保育園・こども園管理運営費 及び公立保育所・こども園総務費	A	B	
23	幼稚園教育指導関係経費	A	A	
24	公立幼稚園管理運営費及び幼稚園 総務費	A	B	

事業名	民間保育所等助成事業費			資料編	3～5頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	5 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます		
概要	民間幼稚園・保育所・こども園の適切な運営に扶助する（法定給付） 市内民間保育園及びこども園の職員の処遇改善、施設の整備・改善及び保育サービスの充実のために補助する。				
令和4年度目標	民間保育園及びこども園（保育部分）の年間平均入園児数 807人 民間幼稚園及びこども園（教育部分）の年間平均入園児数 142人 ※各市内利用定員数				
令和4年度実績等	<p>◇民間保育園・こども園(保育園部)・小規模保育事業所の年間平均入園児数 766人</p> <p>◇市内民間保育園等(10園)と広域入所保育園等(7園)の運営費として、施設型給付費848,369千円</p> <p>◇民間こども園(幼稚園部)の年間平均入園児数 149人</p> <p>◇市内民間こども園(4園)と広域入所こども園(9園)の運営費として、施設型給付費154,847千円</p> <p>◇乳幼児保育事業の実施園 7園(多様な保育事業 41,179千円)</p> <p>◇延長保育・一時預かり保育・病児保育等の実施園 10園(保育対策事業 64,258千円)</p> <p>◇新設・改築等に係る借入金利子への補助 4園(民間保育園等施設整備事業 1,329千円)</p> <p>◇原油価格・物価高騰に伴う食材料費への補助 9園(学校給食費等物価高騰対策事業 2,886千円)</p> <p>◇保育サービスの安定的な提供の継続への補助 10園(価格高騰緊急支援事業 1,864千円)</p> <p>◇子育てのための施設等利用等給付 8,720千円(補助実績:15施設、64人)</p>				
令和3年度実績等	<p>◇民間保育園・こども園(保育園部)・小規模保育事業所の年間平均入園児数 639人</p> <p>◇市内民間保育園等(8園)と広域入所保育園等(8園)の運営費として、施設型給付費646,134千円</p> <p>◇民間こども園(幼稚園部)の年間平均入園児数 162人</p> <p>◇市内民間こども園(4園)と広域入所こども園(6園)の運営費として、施設型給付費152,309千円</p> <p>◇乳幼児保育事業の実施園 6園(多様な保育事業 29,970千円)</p> <p>◇延長保育・一時預かり保育・病児保育等の実施園 8園(保育対策事業 41,604千円)</p> <p>◇新設・改築等への補助及びそれに係る借入金利子への補助 6園</p> <p>民間保育園等施設整備事業 423,943千円(償還金利子1,477千円、施設整備422,466千円)</p> <p>◇子育てのための施設等利用等給付 7,954千円(補助実績:15施設、68人)</p>				
課題及び今後の取り組み	<p>幼児教育・保育の無償化により、財政的負担の増加が課題である。</p> <p>令和4年4月に私立保育園2園が新規に開園したが、令和5年4月の保育ニーズが増加しており、待機児童対策のさらなる拡充を検討していく。</p> <p>市内の民間保育園1園が令和6年度末に閉園を予定している。</p> <p>待機児童対策・保育サービスの充実には不可欠な助成であること、また、保育士の処遇改善は全国的な重要課題であることから、国の補助メニュー等を活用して継続していく。</p>	評価	↑ 実現度	A B C	<p>☆☆</p> <p>重要度→</p> <p>☆R4 ★R3</p>

事業名	公立保育園・こども園管理運営費及び公立保育所・こども園総務費		資料編	2・6頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	4 基本的な生活習慣の定着を通して自立する心を育みます 7 保育環境の充実に努めます	
概要	公立保育園・こども園を適切に管理・運営する。			
令和4年度目標	待機児童数（4月1日現在） 0人			
令和4年度実績等	◇待機児童数（令和4年4月1日現在） 0人 ◇公立保育園・こども園の入所園児数（令和4年5月1日現在） 410人 ◇公立保育園・こども園の管理運営費90,244千円及び共通経費84,226千円 ※鷺津保育園が令和4年度末に閉園したため、管理運営費及び共通経費は前年度から減少した。			
令和3年度実績等	◇待機児童数（令和3年4月1日現在） 14人 ◇公立保育園・こども園の入所園児数（令和3年5月1日現在） 541人 ◇公立保育園・こども園の管理運営費93,748千円及び共通経費115,592千円 ※岡崎幼稚園の経費は、令和3年4月の認定こども園移行に伴い、幼稚園総務費から移管			
課題及び今後の取り組み	令和2年4月に新居幼稚園が、令和3年4月に岡崎幼稚園が認定こども園へ移行したため、安定運営に注力する。 令和5年3月をもって鷺津保育園を閉園したが、新型コロナウイルス感染症の5類移行と呼応するかのようにより、令和5年4月の保育ニーズが増加しており、待機児童対策のさらなる拡充を検討していく。		評価	↑ 実現度 A B C 重要度→ ☆R4 ★R3
事業名	幼稚園教育指導関係経費		資料編	12頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	6 一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます	
概要	個に合わせた指導を行い、幼児教育・保育の充実及び向上を図る。			
令和4年度目標	巡回相談12回、幼児教育相談10回			
令和4年度実績等	◇巡回相談及び幼児教育相談の回数 22回 ◇幼児ことばの教室事業 2,211千円、幼児ことばの教室へ21人が通級 ◇特別支援教育推進事業 14,827千円、特別支援教育支援員を12人配置			
令和3年度実績等	◇巡回相談及び幼児教育相談の回数 22回 ◇幼児ことばの教室事業 2,353千円、幼児ことばの教室へ27人が通級 ◇特別支援教育推進事業 13,750千円、特別支援教育支援員を13人配置 ※幼稚園教育振興事業は、幼稚園総務費へ移管			
課題及び今後の取り組み	特別支援員の支援スキルの向上及び巡回相談員の確保が課題である。 特別な支援を要する子どもは増加傾向にあり、表れについても多種多様化しているため、事業の必要性は非常に高く、今後も継続していく。		評価	↑ 実現度 A B C 重要度→ ☆R4 ★R3

事業名	公立幼稚園管理運営費及び幼稚園総務費		資料編	21・22頁												
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	4 基本的な生活習慣の定着を通して自立する心を育みます 7 保育環境の充実に努めます 8 魅力ある園・学校づくりの基盤として教職員の資質向上に取り組みます													
概要	公立幼稚園を適切に管理・運営する。															
令和4年度目標	幼稚園一時預かり事業 延べ利用数7,000人（子ども・子育て支援事業計画：確保の内容）															
令和4年度実績等	◇公立幼稚園の園児数(令和4年5月1日現在) 180人 ◇公立幼稚園4園の管理運営費15,925千円及び共通経費17,716千円 ◇幼稚園研究指定事業 新居幼稚園「自ら体を動かして遊ぶ子どもの育成」 ◇幼稚園一時預かり事業（開園日）延べ利用数5,184人、（長期休園日）延べ利用数777人 ◇幼稚園親子読書推進事業 108千円 ◇幼稚園教育振興事業 341千円															
令和3年度実績等	◇公立幼稚園の園児数(令和3年5月1日現在) 221人 ◇公立幼稚園4園の管理運営費17,603千円及び共通経費18,090千円 ◇幼稚園研究指定事業 新居幼稚園「体を動かして遊ぶ楽しさを感じられる子どもの育成」 ◇幼稚園一時預かり事業（開園日）延べ利用数5,822人、（長期休園日）延べ利用数1,035人 ◇幼稚園親子読書推進事業 121千円 ◇幼稚園教育振興事業 425千円															
課題及び今後の取り組み	幼児教育・保育の無償化により、財政的負担の増加が課題である。保育需要が高まる一方で幼稚園への入園者は減少している。園児の減少が著しい新所幼稚園は、保護者の意向により全園児が知波田幼稚園へ転園することとなり、令和4年度末に閉園した。閉園後の施設は、令和6年度にこども未来課へ移管し、地域子育て支援施設として整備される予定。 真愛保育園が令和6年4月に幼保連携型認定こども園へ移行する予定にあわせて、同地区の白須賀幼稚園を令和6年3月に閉園する。	評価	↑ 実現度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>☆☆</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> <td></td> </tr> </table> 重要度→ ☆R4 ★R3	A				B			☆☆	C	B	A	
A																
B			☆☆													
C	B	A														

[スポーツ・生涯学習課 事業評価の概要]

頁	事業名	令和4年度評価		備考
		重要度	実現度	
26	社会教育総務関係経費	A	A	
26	生涯学習推進費	A	B	
27	西部地域センター管理運営費	B	B	
27	青少年健全育成費	A	B	
28	青少年健全育成センター活動費	B	B	
28	北部地区多目的研修施設管理運営費	B	C	
28	南部地区構造改善センター管理運営費	B	C	
29	保健体育総務関係経費 (社会体育振興事業)	B	C	
29	保健体育総務関係経費 (健康づくり事業)	B	B	
30	社会体育施設維持管理費 (湖西運動公園外5施設維持管理)	A	B	
30	社会体育施設維持管理費 (複合運動施設管理運営)	A	B	
31	スポーツ活動推進及び大会運営費 (スポーツ普及推進及び育成事業)	B	C	
31	スポーツ活動推進及び大会運営費 (ジュニアスポーツ育成事業)	B	B	
31	スポーツ活動推進及び大会運営費 (高齢者の健康生きがいつくり事業)	B	C	
32	スポーツ活動推進及び大会運営費 (学校体育施設開放事業)	A	A	
32	スポーツ活動推進及び大会運営費 (静岡県市町対抗駅伝競走大会)	B	A	
32	スポーツ活動推進及び大会運営費 (KOSAIリレーマラソン)	B	B	
33	スポーツ活動推進及び大会運営費 (室内棒高跳記録会)	B	C	

事業名	社会教育総務関係経費		資料編	23頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	方針	14 家庭教育を支援します 17 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境を整備します	
概要	社会教育推進のため、家庭教育の充実に向けて、ふたば学級・家庭教育学級・子育て講演会等の充実に努めます。社会教育委員、生涯学習推進協議会委員及び社会教育指導員を置く。			
令和4年度目標	社会教育委員会の開催：3回開催 社会教育指導員設置事業：4人設置			
令和4年度実績等	◇社会教育委員会の開催：3回開催 ◇生涯学習推進協議会の開催：1回開催 ◇社会教育指導員設置事業：指導員4人設置（家庭教育学級、ふたば学級、ヤングダイアルなどを担当）			
令和3年度実績等	◇社会教育委員会の開催：3回開催（内2回はコロナ対策により書面開催） ◇生涯学習推進協議会の開催：1回開催（コロナ対策により書面開催） ◇社会教育指導員設置事業：指導員4人設置（家庭教育学級、ふたば学級、ヤングダイアルなどを担当）			
課題及び今後の取り組み	社会教育の振興をはかるため、高い識見と専門性を持つ者を社会教育指導員として配置する。 湖西市生涯学習推進計画を総合的かつ効果的に推進するために、社会教育委員や生涯学習推進協議会委員より意見を徴収し、施策に反映していく。	評価	↑ 実現度	A B C 重要度→ ★R4 ★R3
事業名	生涯学習推進費		資料編	24～26頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	方針	14 家庭教育を支援します 15 地域における教育力向上のため、学校、家庭、地域等との連携を図ります 17 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境を整備します	
概要	わくわく子ども教室・学校支援地域本部事業等を充実させ、地域連携と教育力の向上を図ります。家庭教育、生涯学習の重要性から、各年代層に学習の機会を提供する。			
令和4年度目標	家庭教育サポート事業：講座参加人数 800人 青少年教育推進事業：イベント参加者数 2,000人 高齢者教育の推進事業：参加者数 300人 生涯学習の推進：達人録登録人数 200人 おちばの里親水公園管理事業：公園利用者数(申請分) 2,000人 わくわく子ども教室推進事業：教室申込者数 180人 学校支援本部事業：支援本部設置数 11校			
令和4年度実績等	◇家庭教育サポート事業：講座参加人数 577人 (ふたば学級61人、家庭教育学級56人、教育講演会460人) ◇青少年教育推進事業：イベント参加者数 1,881人 (親子体験教室485人、ものづくり体験事業310人、科学の体験850人、コーちゃんフェスタ236人) ◇高齢者教育の推進事業：寿大学参加者数 104人 ◇生涯学習の推進：達人録登録人数 129人、生涯学習講座(生涯学習係:9)講座、子ども講座1講座の企画及び実施 ◇おちばの里親水公園管理事業：公園利用者数(申請分) 113件、2,576人 ◇わくわく子ども教室推進事業：市内6小学校で実施。教室申込者数 172人 ◇学校支援本部事業：学校支援本部を8校設置。(白須賀小、知波田小、東小、新居小、白須賀中、湖西中、鷺津中、新居中)			
令和3年度実績等	◇家庭教育サポート事業：講座参加人数 204人 (ふたば学級、家庭教育学級を実施、教育講演会は新型コロナウイルス感染対策のため中止) ◇青少年教育推進事業：イベント参加者数 355人 (親子体験教室、ものづくり体験事業を実施、科学の体験、コーちゃんフェスタは新型コロナウイルス感染対策のため中止) ◇高齢者教育の推進事業：寿大学参加者数 109人 ◇生涯学習の推進：達人録登録人数 127人、生涯学習講座11講座、子ども講座1講座の企画及び実施 ◇おちばの里親水公園管理事業：公園利用者数(申請分) 90件、2,334人 ◇わくわく子ども教室推進事業：市内6小学校で実施。教室申込者数 166人 ◇学校支援本部事業：学校支援本部を8校設置。(白須賀小、知波田小、東小、新居小、白須賀中、湖西中、鷺津中、新居中)			
課題及び今後の取り組み	ふたば学級や家庭教育学級、わくわく子ども教室の参加者を確保するよう、実施内容等の見直しを検討する。 湖西市生涯学習推進計画に基づき、ライフステージに応じた事業を展開する。 市内全地区での事業展開を継続する。(ふたば学級、家庭教育学級、寿大学など)	評価	↑ 実現度	A B C 重要度→ ★R4 ★R3

事業名	西部地域センター管理運営費			資料編	26頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	方針	17 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境を整備します 18 市民が集い結びあうセンター活動に努めます 19 安全で安心な施設を管理・運営します		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 西部地域センター等で各種講座を開設します・生涯学習施設・設備等を点検し、適切な管理・運営に努め、利用者の増加を図ります 西部地域センターの施設の維持管理と各種講座、まつりの開催。 				
令和4年度目標	利用者数 30,000人				
令和4年度実績等	<ul style="list-style-type: none"> ◇施設管理業務：利用者数 28,282人 ◇生涯学習講座10講座が開催された。（予算は生涯学習推進費） ◇まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 				
令和3年度実績等	<ul style="list-style-type: none"> ◇施設管理業務：利用者数 27,514人 ◇生涯学習講座3講座が開催された。（予算は生涯学習推進費） ◇まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 				
課題及び今後の取り組み	施設の老朽化（昭和60年度建設）により維持管理費が増大しているが、安全で安心して利用できる環境を保つため、修繕・改修等により、施設の適切な維持に努める。 講座参加人数の増加に努める。 講座の終了者によるサークル化を促進する。 利用拡大を周知し、一層の利用者数の増加に努める。			評価	↑ 実現度 A B ☆ C ★ B A 重要度→ ☆R4 ★R3
事業名	青少年健全育成費			資料編	27頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	方針	16 青少年健全育成意識を醸成します		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 青少年健全育成大会や青少年教育推進事業を通して青少年の健全な育成に努めます 明湖会等青少年健全育成団体と連携し、明るい地域づくりや青少年健全育成の推進を図ります 青少年の健全な育成を図るため、健全育成大会の開催や子ども会等の青少年育成団体を支援する。 				
令和4年度目標	青少年健全育成事業：「家庭の日」作品応募数 800点 はたちの集い開催事業：参加率 85%				
令和4年度実績等	<ul style="list-style-type: none"> ◇青少年問題協議会：6月13日開催した。 ◇青少年健全育成事業：11月5日 健全育成大会の開催及び表彰を行った。参加者64人。 ◇家庭の日普及事業：「家庭の日」作品（絵画、標語、詩）を募集した。応募数502点。 優秀作品による啓発品を作成し、啓発活動を実施した。 ◇青少年育成団体支援事業：明湖会、子ども会など団体活動を支援した。 ◇はたちの集い開催事業：1月8日 アメニティプラザで実施し、495人参加。（参加率84.0%） 				
令和3年度実績等	<ul style="list-style-type: none"> ◇青少年問題協議会：6月25日開催した。 ◇青少年健全育成事業：11月6日 健全育成大会の開催及び表彰を行った。参加者65人。 ◇家庭の日普及事業：「家庭の日」作品（絵画、標語、詩）を募集した。応募数377点。 優秀作品による啓発品を作成し、啓発活動を実施した。 ◇青少年育成団体支援事業：明湖会、子ども会など団体活動を支援した。 ◇成人式開催事業：1月9日 アメニティプラザで実施し、518人参加。（参加率83.14%） 				
課題及び今後の取り組み	社会全体で青少年を育成しようと機運を高め、事業を継続する。			評価	↑ 実現度 A B ★☆ C B A 重要度→ ☆R4 ★R3

事業名		青少年健全・育成センター活動費		資料編	28頁																				
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくり ます	方針	16 青少年健全育成意識を醸成します																						
概要	明湖会等青少年健全育成団体と連携し、明るい地域づくりや青少年の健全育成の推進を図ります 青少年補導員による補導活動や社会教育指導員による相談活動等の青少年非行防止活動を行う。																								
令和4年度 目標	補導実施回数 140回																								
令和4年度 実績等	◇街頭補導活動：月1～2回、地区別定期補導 91回 ◇ヤングダイヤル電話相談活動：相談件数 8件																								
令和3年度 実績等	◇街頭補導活動：月1～2回、地区別定期補導 27回 (5～10月・2～3月は新型コロナウイルス感染防止のため中止した。) ◇ヤングダイヤル電話相談活動：相談件数 11件																								
課題及び 今後の 取り組み	2年ごとに地区で補導員を選出されるが、選出が難航する地区がある。			評価	<table border="1"> <tr><td>↑</td><td>A</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>実</td><td>B</td><td>★☆</td><td></td></tr> <tr><td>現</td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> <tr><td>度</td><td colspan="3">重要度→</td></tr> <tr><td></td><td colspan="3">★R4 ★R3</td></tr> </table>	↑	A			実	B	★☆		現	C	B	A	度	重要度→				★R4 ★R3		
↑	A																								
実	B	★☆																							
現	C	B	A																						
度	重要度→																								
	★R4 ★R3																								
事業名		北部地区多目的研修施設管理運営費		資料編	31頁																				
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくり ます	方針	17 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環 境を整備します 18 市民が集い結びあうセンター活動に努めます 19 安全で安心な施設を管理・運営します																						
概要	・西部地域センター等で各種講座を開設します ・生涯学習施設・設備等を点検し、適切な管理・運営に努め、利用者の増加を図ります 北部地区多目的研修集会施設の維持管理と各種講座、まつりの開催。																								
令和4年度 目標	利用者数 11,000人																								
令和4年度 実績等	◇施設の維持管理：利用者数 7,632人 ◇生涯学習講座6講座と子ども講座1講座が開催された。(予算は生涯学習推進費) ◇まつりは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止																								
令和3年度 実績等	◇施設の維持管理：利用者数 6,131人 ◇生涯学習講座2講座と子ども講座1講座が開催された。(予算は生涯学習推進費) ◇まつりは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止																								
課題及び 今後の 取り組み	施設の老朽化(昭和56年度建設)により維持管理費が増大しているが、安全で安心して利用できる環境を保つため、修繕・改修等により、施設の適切な維持に努める。 講座参加人数の増加に努める。 講座の終了者によるサークル化を促進する。			評価	<table border="1"> <tr><td>↑</td><td>A</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>実</td><td>B</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>現</td><td>C</td><td>★☆</td><td>A</td></tr> <tr><td>度</td><td colspan="3">重要度→</td></tr> <tr><td></td><td colspan="3">★R4 ★R3</td></tr> </table>	↑	A			実	B			現	C	★☆	A	度	重要度→				★R4 ★R3		
↑	A																								
実	B																								
現	C	★☆	A																						
度	重要度→																								
	★R4 ★R3																								
事業名		南部地区構造改善センター管理運営費		資料編	31頁																				
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくり ます	方針	17 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環 境を整備します 18 市民が集い結びあうセンター活動に努めます 19 安全で安心な施設を管理・運営します																						
概要	・西部地域センター等で各種講座を開設します ・生涯学習施設・設備等を点検し、適切な管理・運営に努め、利用者の増加を図ります 南部構造改善センターの維持管理と各種講座、まつりの開催。																								
令和4年度 目標	利用者数 11,000人																								
令和4年度 実績等	◇施設の維持管理：利用者総数 7,974人 ◇生涯学習講座10講座と子ども講座1講座が開催された。(予算は生涯学習推進費) ◇まつりは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止																								
令和3年度 実績等	◇施設の維持管理：利用者総数 6,976人 ◇生涯学習講座3講座が開催された。(予算は生涯学習推進費) ◇まつりは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止																								
課題及び 今後の 取り組み	施設の老朽化(平成6年度建設)により維持管理費が増大しているが、安全で安心して利用できる環境を保つため、修繕・改修等により、施設の適切な維持に努める。 講座参加人数の増加に努める。 講座の終了者によるサークル化を促進する。			評価	<table border="1"> <tr><td>↑</td><td>A</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>実</td><td>B</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>現</td><td>C</td><td>★☆</td><td>A</td></tr> <tr><td>度</td><td colspan="3">重要度→</td></tr> <tr><td></td><td colspan="3">★R4 ★R3</td></tr> </table>	↑	A			実	B			現	C	★☆	A	度	重要度→				★R4 ★R3		
↑	A																								
実	B																								
現	C	★☆	A																						
度	重要度→																								
	★R4 ★R3																								

事業名	保健体育総務関係経費（社会体育振興事業）			資料編	34頁
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します		
概要	ライフステージに応じたスポーツ活動を推進するため、スポーツ推進委員会を中心として各種スポーツ活動の企画・運営を行い、スポーツの普及を図る。				
令和4年度目標	ニュースポーツ参加人数 500人				
令和4年度実績等	◇ニュースポーツ参加人数 449人				
令和3年度実績等	◇ニュースポーツ参加人数 275人				
課題及び今後の取り組み	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、約半数の講習会が中止となったことから参加人数が大幅に減少した令和3年度と比較し、講習会が予定どおり実施できたため大幅に増加したが、コロナ以前の参加者には程遠い現状である。また、過去からの課題であったニュースポーツ講習会等の参加者が固定化傾向も改善されていない。</p> <p>スポーツ推進委員の負担軽減も考慮しながら、活動の充実を図るため、今後も各種スポーツ活動についてスポーツ推進委員で企画検討し、開催方法等について今後も検討していく。</p>	評価	↑ 実現度	A	
				B	
				C	★☆☆ B A
				重要度→ ☆☆R4 ★R3	
事業名	保健体育総務関係経費（健康づくり事業）			資料編	34頁
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します		
概要	ライフステージに応じたスポーツ活動を推進するため、スポーツの推進に関する施策の基本を明らかにし、市民の心身の健全な発達と明るい市民生活の形成に寄与することを目的に、湖西市の実情に即した推進計画を策定する。				
令和4年度目標	健康づくり事業として、白須賀ウォーキングコースの設定及び予算付けを行う。				
令和4年度実績等	◇白須賀ウォーキングコースに関し、予算付けすることができなかったため、看板設置等は実施できなかったが、ウォーキングコースの見直しを行った。（当日は天候不順のため実施には至らなかった。）				
令和3年度実績等	◇白須賀ウォーキングコースに関し、予算付けすることができなかったため、看板設置等は実施できなかったが、ウォーキングコースの設定やウォーキングは実施できた。				
課題及び今後の取り組み	<p>健康づくり事業の一環として、手軽にできる運動がしやすい環境づくりに努める。</p> <p>ウォーキングコースについては、各地域で安心して手軽にできるウォーキングや散歩のモデルコースとして、これまでに既存の鷺津、入出、岡崎に加え、平成27年度に新居、令和3年度に白須賀にコースを設定した。</p> <p>今後引き続き、スポーツ推進委員で企画検討していく。</p>	評価	↑ 実現度	A	
				B	☆
				C	★☆☆ B A
				重要度→ ☆☆R4 ★R3	

事業名	社会体育施設維持管理費（湖西運動公園外5施設維持管理）		資料編	35頁																				
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	25 スポーツ環境を整備します																					
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、湖西運動公園・梶田多目的運動広場・北部地区運動広場・みなと運動公園・新居スポーツ広場公園・勤労者体育センターの利用者が快適かつ安全に競技ができるよう指定管理者による施設の維持管理を行う。																							
令和4年度目標	湖西運動公園外5施設年間利用目標：205,000人																							
実績等	湖西運動公園等	令和3年度年間利用者数	令和4年度年間利用者数																					
	湖西運動公園	50,519人	40,345人																					
	梶田多目的運動広場	1,854人	1,668人																					
	北部地区運動広場	11,441人	6,475人																					
	合計	63,814人	48,488人																					
	みなと運動公園	令和3年度年間利用者数	令和4年度年間利用者数																					
	野球場	3,040人	3,678人																					
	多目的広場	8,977人	8,476人																					
	合計	12,017人	12,154人																					
	新居スポーツ広場公園	令和3年度年間利用者数	令和4年度年間利用者数																					
	体育館	55,630人	58,367人																					
	庭球場	2,549人	1,683人																					
	弓道場	2,149人	1,869人																					
	合計	60,328人	61,919人																					
	勤労者体育センター	令和3年度年間利用者数	令和4年度年間利用者数																					
	体育室	27,262人	27,285人																					
卓球室	4,750人	5,038人																						
トレーニング室	1,683人	2,678人																						
合計	33,695人	35,001人																						
課題及び今後の取り組み	指定管理者の運営努力は認めるものの、新型コロナウイルス感染症、また、年間を通して天候不良が多く屋外施設の中止などの影響により、令和4年度の利用者数は令和3年度と比較して減少となった。指定管理者との連携による適正な施設管理・運営に努め、利用者数の増加に努めていく。		評価	<table border="1"> <tr> <td>↑</td> <td>A</td> <td></td> <td>★</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td>☆</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">重要度→</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">☆R4 ★R3</td> </tr> </table>	↑	A		★		B		☆		C	B	A		重要度→				☆R4 ★R3		
↑	A		★																					
	B		☆																					
	C	B	A																					
	重要度→																							
	☆R4 ★R3																							
事業名	社会体育施設維持管理費（複合運動施設管理運営）		資料編	36頁																				
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	25 スポーツ環境を整備します																					
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、アメニティプラザの利用者が、快適かつ安全に競技ができるよう指定管理者による施設管理を行う。																							
令和4年度目標	アメニティプラザ年間利用者目標：290,000人																							
実績等	施設名	令和3年度年間利用者数	令和4年度年間利用者数																					
	温水レジャープール	72,520人	88,558人																					
	浴室	47,113人	48,054人																					
	トレーニングルーム	13,489人	15,372人																					
	メインアリーナ	20,986人	35,517人																					
	サブアリーナ	13,511人	16,261人																					
	スタジオ	6,522人	8,589人																					
	合計	174,141人	212,351人																					
課題及び今後の取り組み	指定管理者の運営努力により、令和4年度の利用者数は令和3年度と比較して減少となったが、コロナ以前の利用者数の水準には至っていない。指定管理者との連携による適正な施設管理・運営に努め、利用者数の増加に努めていく。		評価	<table border="1"> <tr> <td>↑</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td>☆☆</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">重要度→</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">☆R4 ★R3</td> </tr> </table>	↑	A				B		☆☆		C	B	A		重要度→				☆R4 ★R3		
↑	A																							
	B		☆☆																					
	C	B	A																					
	重要度→																							
	☆R4 ★R3																							

事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（スポーツ普及推進及び育成事業）		資料編	37頁																
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します																	
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、市民のスポーツ活動を推進し、競技力の向上と健康増進を図るため、スポーツ大会やスポーツ教室の開催など各種事業を行う。																			
令和4年度目標	スポーツ教室及びスポーツ大会参加者目標：3,000人																			
令和4年度実績等	◇スポーツ教室	ニュースポーツ講習会等、7教室、1講習会 延 91回 総参加者数 1,175人																		
	◇各種スポーツ大会	バレーボール、野球等 14大会 総参加者数 1,955人																		
	◇スポーツ少年団派遣事業	6競技 派遣回数16回																		
令和3年度実績等	◇スポーツ教室	ニュースポーツ講習会等、7教室、1講習会 延 90回 総参加者数 1,027人																		
	◇各種スポーツ大会	バレーボール、野球、卓球等 5大会 総参加者数 748人																		
	◇スポーツ少年団派遣事業	4競技 派遣回数5回																		
課題及び今後の取り組み	令和4年度の利用者数は令和3年度と比較して増加となったが、コロナ以前の利用者数の水準には至っていない。 今後も参加者アンケートや関係団体との意見交換等を参考に、ニーズにあった種目、大会を実施する。		評価	<table border="1"> <tr><td>↑</td><td>A</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>B</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>C</td><td>★☆</td><td>A</td></tr> <tr><td></td><td colspan="3">重要度→ ☆R4 ★R3</td></tr> </table>	↑	A				B				C	★☆	A		重要度→ ☆R4 ★R3		
↑	A																			
	B																			
	C	★☆	A																	
	重要度→ ☆R4 ★R3																			
事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（ジュニアスポーツ育成事業）		資料編	37頁																
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します																	
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、中学生の競技力向上のため、ジュニアスポーツクラブを育成する。																			
令和4年度目標	生徒参加者目標：150人																			
令和4年度実績等	◇実施種目	野球、サッカー、ソフトテニス、柔道、陸上競技、バレーボール																		
	参加者数	195人																		
令和3年度実績等	◇実施種目	野球、サッカー、ソフトテニス、柔道、陸上長距離																		
	参加者数	112人																		
課題及び今後の取り組み	学校の部活動と連絡・調整を行い、今後も活動を継続する。 他の新種目の指導者の発掘及びスポーツ人口減少問題が課題。		評価	<table border="1"> <tr><td>↑</td><td>A</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>B</td><td>☆☆</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> <tr><td></td><td colspan="3">重要度→ ☆R4 ★R3</td></tr> </table>	↑	A				B	☆☆			C	B	A		重要度→ ☆R4 ★R3		
↑	A																			
	B	☆☆																		
	C	B	A																	
	重要度→ ☆R4 ★R3																			
事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（高齢者の健康生きがいづくり事業）		資料編	39頁																
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します																	
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、高齢者の方々が心と体を健康に保つために、スポーツに親しむ場を提供する。																			
令和4年度目標	大会参加者目標：1,000人																			
令和4年度実績等	◇スポーツ大会開催種目	ペタンク、ラージボール、グランドゴルフ																		
	大会回数	年5回 総参加者数 500人																		
令和3年度実績等	◇スポーツ大会開催種目	ペタンク、ペタボード、グランドゴルフ、輪投げ																		
	大会回数	年4回 総参加者数 568人																		
課題及び今後の取り組み	さらなる参加者数の拡大が課題。また、天候に左右されやすい種目は開催時期の変更もしくは回数を減らすことも必要。 令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、教室等の中止が多かったことから参加人数が減少した。 開催方法等について今後も関係団体と連携し検討していく。		評価	<table border="1"> <tr><td>↑</td><td>A</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>B</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>C</td><td>★☆</td><td>A</td></tr> <tr><td></td><td colspan="3">重要度→ ☆R4 ★R3</td></tr> </table>	↑	A				B				C	★☆	A		重要度→ ☆R4 ★R3		
↑	A																			
	B																			
	C	★☆	A																	
	重要度→ ☆R4 ★R3																			

事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（学校体育施設開放事業）		資料編	38頁	
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	25 スポーツ環境を整備します		
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、市内小中学校体育施設を開放することにより、市民がスポーツを通じて交流する場を提供する。				
令和4年度目標	学校体育施設利用者目標：105,000人				
実績等		令和3年度		令和4年度	
	施設名	延利用回数	延利用者数	延利用回数	延利用者数
	小・中学校運動場	666回	29,148人	673回	29,886人
	小・中学校体育館	1,743回	50,311人	2,063回	57,514人
	小・中学校武道場	815回	15,091人	930回	16,672人
	小・中学校クラブハウス	6回	52人	0回	0人
合計	3,230回	94,602人	3,666回	104,072人	
課題及び今後の取り組み	令和4年度の利用回数・利用者数は、コロナ以前の令和元年度を上回る実績となっている。 今後も、利用者の増加に努めていく。		評価	↑ 実現度	A B C 重要度→ ★R4 ★R3
事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（静岡県市町対抗駅伝競走大会）		資料編	39頁	
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します		
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、市町対抗駅伝に出場し、競技力の向上を図る。				
令和4年度目標	市の部10位以内入賞をめざす。				
令和4年度実績等	◇開催日	12月3日（土）			
	◇成績	市の部 8位			
令和3年度実績等	◇開催日	12月4日（土）			
	◇成績	市の部 10位			
課題及び今後の取り組み	優秀な競技者の発掘、競技力の向上に努力する。 小中学生の走力向上に取り組み、好成績を維持する。		評価	↑ 実現度	A B C 重要度→ ★R4 ★R3
事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（KOSAIリレーマラソン）		資料編	39頁	
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します		
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、大会を開催し、競技力の向上を図る。令和3年度から、リレーマラソン方式を採用し、開催した。				
令和4年度目標	大会参加チーム目標：100チーム				
令和4年度実績等	◇開催日	1月15日（日）			
	◇参加数	63チーム			
令和3年度実績等	◇開催日	1月16日（日）			
	◇参加数	35チーム			
課題及び今後の取り組み	以前実施していた駅伝大会は、一般道路を使っての競技になるので、渋滞等の苦情が多いこと、また、事故が起きないように運営することが課題であり、令和3年度から「コーちゃんリレーマラソン」を令和4年度は「KOSAIリレーマラソン」と名称を変更し開催した。また、参加資格を小学生以上とし、性別、年齢に関係なくチームを組めるため、参加しやすく楽しめる大会となった。 今後は、関係団体と連携のうえ大会継続のための運営方法等を検討していく。		評価	↑ 実現度	A B C 重要度→ ★R4 ★R3

事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（室内棒高跳記録会）			資料編	-																							
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します																									
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、近隣の中高生・一般選手の棒高跳競技の強化を目的とし、自己記録及び新記録樹立をめざす場を提供する。																											
令和3年度目標	記録会参加者目標：120人																											
実績等	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th>令和3年度 記録会</th> <th colspan="3">令和4年度 記録会</th> </tr> <tr> <td></td> <th>開催日</th> <th>対象</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td rowspan="2">新型コロナウイルス感染症の影響により中止</td> <td>2/11</td> <td>中学 男女</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2/11</td> <td>一般、高校 男女</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">計</td> <td>62人</td> </tr> </tbody> </table>					区分	令和3年度 記録会	令和4年度 記録会				開催日	対象	参加者数		新型コロナウイルス感染症の影響により中止	2/11	中学 男女	28人		2/11	一般、高校 男女	34人			計		62人
区分	令和3年度 記録会	令和4年度 記録会																										
		開催日	対象	参加者数																								
	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	2/11	中学 男女	28人																								
		2/11	一般、高校 男女	34人																								
		計		62人																								
課題及び今後の取り組み	<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら、実施された。</p> <p>今後も静岡西部陸上競技協会が主催者となった記録会を継続するとともに、静岡県西部の中高校生、一般選手の強化育成を目的とし、自己記録の更新を目指す場を提供する。</p> <p>さらには、全国でも数少ない日本陸連公認の室内棒高跳施設を強みに、棒高跳選手を有する大学や企業・クラブチームなどの練習や合宿で施設・用具を活用してもらうようPRを図る。</p>			評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">↑ 実現度</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>★☆</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>重要度→ ☆R4 ★R3</p>	↑ 実現度	A			B			C	★☆	A													
↑ 実現度	A																											
	B																											
	C	★☆	A																									

[文化観光課 事業評価の概要]

頁	事業名	令和4年度評価		備 考
		重要度	実現度	
35	文化振興関係経費	B	A	
35	文化財保護保存費	A	C	
36	白須賀宿歴史拠点施設管理運営費	B	C	
36	新居関所史料館管理運営費	B	A	
37	紀伊国屋資料館管理運営費	B	A	
37	小松楼まちづくり交流館管理運営費	B	A	

事業名	文化振興関係経費			資料編	28頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	方針	21 文化芸術を推進します		
概要	文化芸術の鑑賞機会の提供および市民の文化芸術活動の支援を行う。				
令和4年度目標	市民芸術祭見学者5,000人				
令和4年度実績等	◇芸術文化振興事業：芸術祭開催 5,642人（春季芸能祭1,100人、文化の祭典1,147人、秋季芸能祭600人、美術祭2,795人）、市民文芸第13号発行				
令和3年度実績等	◇芸術文化振興事業：文化の祭典開催1,056人（芸能祭、美術祭は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）、市民文芸第12号発行				
課題及び今後の取り組み	文化協会は会員数が減少しており、若年層の取り込みなどによって会の活性化と事務局組織の強化を図る必要がある。 またR5は新居地域センターの改修が行われるので、R6からコンサートピアノの利活用方法を検討し芸術文化の振興を図る。	評価	↑ 実現度	A B C	☆ ★ A
				重要度→ ☆R4 ★R3	
事業名	文化財保護保存費			資料編	29頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	方針	20 文化財を保存活用します		
概要	指定文化財の保護保存活用に努めるとともに、誰もが資料を利用できる環境の充実を図る。				
令和4年度目標	指定文化財のき損届・損傷届件数0件				
令和4年度実績等	◇文化財保護審議会：令和4年12月9日開催 指定文化財の現状報告、指定候補物件の検討。 ◇文化財保護保存事業：指定文化財消防設備保守3件、無形民俗文化財公開1件、天然記念物1件、史跡2件を補助した。 ◇市内遺跡発掘調査事業：古見古窯跡群遺跡から出土した遺物整理を実施した。 ◇大知波峠廃寺跡保存整備事業：草刈りを実施し保存管理に努めたが、遺構のき損が確認された。 ◇新居関跡保存整備事業：新居関跡保存活用計画策定委員会を3回開催し、計画を策定中。 ◇古文書整理事業：静岡文化芸術大学と新居関所史料館所蔵文書と新居町近代役場文書の整理をした。 ◇湖西中学校南校舎「ふるさと学習室」を10月29日に一般公開した。また出前講座を6回開催した。				
令和3年度実績等	◇文化財保護審議会：令和3年4月28日開催 浜名湖新居町沖湖底遺跡群出土資料の文化財指定を行う。 ◇文化財保護保存事業：指定文化財保存管理、公開のために4件の補助を行った。無形民俗文化財2件は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため公開を中止、1件は今後催事を中止することとなった。 ◇市内遺跡発掘調査事業：古見古窯跡群遺跡から出土した遺物整理を実施し、概要報告パノラマを作成した。 ◇大知波峠廃寺跡保存整備事業：草刈りを実施し、保存管理に努めた。 ◇新居関跡保存整備事業：解説板設置工事を実施、委員会1回開催、保存整備事業報告書を刊行した。 ◇湖西中学校南校舎「ふるさと学習室」を10月30日に一般公開した。また出前講座を6回開催した。				
課題及び今後の取り組み	無形民俗文化財の断絶や有形文化財のき損、散逸を防ぐため、文化財保存活用地域計画の策定を進め、地域総がかりでの文化財保存体制の構築に努める必要がある。 誰もが利用しやすいように、発掘調査出土遺物や民俗資料、古文書史料の整理活用を行う。 大規模造成により開発行為の増加が予想されるため、遺跡の保存を適切に行う。 民具倉庫の一部が老朽化しており、北部倉庫への収蔵集約を検討中。 新居関跡保存整備は、史跡保存活用計画の策定を行い、確実な保護保存を行う。	評価	↑ 実現度	A B C	☆ ★ A☆
				重要度→ ☆R4 ★R3	

事業名		白須賀宿歴史拠点施設管理運営費		資料編	29頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	方針	20 文化財を保存活用します		
概要	白須賀宿や歴史と文化を広めるとともに、資料の保存と活用を図るため、白須賀宿歴史拠点施設の運営管理と各種事業を行う。				
令和4年度目標	再発見事業などの展開により、年間入館者数4,000人をめざす。				
令和4年度実績等	◇白須賀宿歴史拠点施設管理運営：入場者数 3,129人 ◇白須賀宿再発見事業：参加者0人（雨天のため中止）				
令和3年度実績等	◇白須賀宿歴史拠点施設管理運営：入場者数 2,616人 ◇白須賀宿再発見事業：参加者0人（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）				
課題及び今後の取り組み	開館から20年が経過しており、展示内容の見直しを行う必要がある。また公共施設再配置個別計画に基づき、機能移転場所を検討していく。施設の管理や再発見事業を委託している運営協議会の会員が高齢化しており、今後再発見事業の活動を支える人材確保が必要。	評価	↑ 実現度	A	
				B	
				C	★☆ A
				重要度→ ☆R4 ★R3	
事業名		新居関所史料館管理運営費		資料編	30頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	方針	20 文化財を保存活用します		
概要	国特別史跡新居関跡の保存に努めるとともに、新居関所に関する歴史資料の保存と活用を図るため、新居関所史料館の運営管理と各種事業を行う。				
令和4年度目標	保存整備事業の成果を利用して、入場者数13,000人をめざす。				
令和4年度実績等	◇新居関所史料館管理：入館者数 16,728人 ◇新居関所史料館運営委員会：令和4年12月9日開催 ◇展示活動：企画展6回 ◇新居宿史跡案内人の会補助事業 ◇キッズミュージアムパスポート導入 パスポート使用入館者数249人 ◇学習プラン利用団体 11件613人				
令和3年度実績等	◇新居関所史料館管理：入館者数 12,663人 ◇新居関所史料館運営委員会：令和3年12月16日開催 ◇展示活動：企画展5回 ◇新居宿史跡案内人の会補助事業				
課題及び今後の取り組み	社会教育施設として、歴史や文化財の理解を深めるイベントの実施や、魅力ある企画展示の開催などによって親しみやすい運営に努め、特に子どもの入館者や学校教育での利用の増加につなげる。	評価	↑ 実現度	A	☆
				B	★
				C	A
				重要度→ ☆R4 ★R3	

事業名	紀伊国屋資料館管理運営費			資料編	30頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくり ます	方針	20 文化財を保存活用します		
概要	市指定の旅籠紀伊国屋の保存に努めるとともに、江戸時代の旅籠に関する歴史資料の保存と活用を図るため、紀伊国屋資料館の管理と運営を行う。				
令和4年度 目標	新居関所史料館との連携で入館者数8,500人をめざす。				
令和4年度 実績等	◇紀伊国屋資料館管理運営事業：入館者数 9,674人 ◇展示活動：おひなさま展 ◇キッズミュージアムパスポート導入 パスポート使用入館者数169人				
令和3年度 実績等	◇紀伊国屋資料館管理運営事業：入館者数 8,095人 ◇展示活動：おひなさま展				
課題及び 今後の 取り組み	市指定有形文化財としての保存に努めるとともに、地域イベントなどにも 協力し活用を図る。 新居関所や小松楼まちづくり交流館と連携した事業を展開する。	評価	↑ 実現度	A	☆
				B	★
				C	A
				重要度→ ☆R4★R3	
事業名	小松楼まちづくり交流館管理運営費			資料編	30頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくり ます	方針	20 文化財を保存活用します		
概要	国登録文化財の小松楼の保存に努めるとともに、地域振興並びに新居関所周辺の観光振興及び文化振興を図るため、小松楼まちづくり交流館の管理と運営を行う。				
令和4年度 目標	周辺施設や地域団体と連携して、入館者数7,500人を目指す。				
令和4年度 実績等	◇小松楼まちづくり交流館管理運営事業：入館者数 8,526人 ◇活動：遊楽舎講座、ギャラリー展示開催などの指定管理自主事業開催				
令和3年度 実績等	◇小松楼まちづくり交流館管理運営事業：入館者数 7,121人 ◇活動：地域の茶の間、遊楽舎講座、ギャラリー展示開催				
課題及び 今後の 取り組み	新居関所や紀伊国屋資料館と連携し、新居関所周辺で滞在できる事業を展 開する。	評価	↑ 実現度	A	☆
				B	★
				C	A
				重要度→ ☆R4★R3	

[図書館事業評価の概要]

頁	事業名	令和4年度評価		備考
		重要度	実現度	
39	中央図書館運営事業	A	B	
39	新居図書館運営事業	A	B	
40	図書館活動推進事業	A	A	

事業名		中央図書館運営事業		資料編	32頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	方針	22	情報拠点としての運営の充実に努めます	
概要	情報提供の拠点として、より多くの市民に利用していただくため、蔵書及び図書館機能の拡充と窓口の円滑なサービスを行い、学習活動環境の充実を図る。				
令和4年度目標	1人当たりの貸出冊数 6.2冊				
令和4年度実績等	◇1人当たりの貸出冊数 5.5冊 ◇入館者数 116,792人 ◇図書貸出数 242,504冊（一般 101,241 児童 113,896 雑誌 14,777 AV 12,590） ◇図書購入状況 図書 4,055冊 雑誌 1,031冊 AV資料 80点 ◇蔵書状況 173,601冊（一般 111,076 児童 54,965 雑誌 4,236 AV 3,324） ◇登録者状況 23,733人				
令和3年度実績等	◇1人当たりの貸出冊数 5.9冊 ◇入館者数 118,293人 ◇図書貸出数 256,475冊（一般 104,496 児童 124,883 雑誌 14,244 AV 12,852） ◇図書購入状況 図書 4,275冊 雑誌 1,063冊 AV資料 75点 ◇蔵書状況 176,266冊（一般 112,612 児童 55,679 雑誌 4,415 AV 3,560） ◇登録者状況 22,995人				
課題及び今後の取り組み	電子図書館を積極的にPRし、利用者拡大を図る。 多文化サービス拡大のため外国語資料を充実させる。 学校図書室との連携・支援を充実させ、児童生徒の読書活動を推進する。	評価	↑ 実現度	A	☆☆
				B	
				C	A
				重要度→ ☆R4 ★R3	
事業名		新居図書館運営事業		資料編	33頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	方針	22	情報拠点としての運営の充実に努めます	
概要	情報提供の拠点として、より多くの市民に利用していただくため、蔵書及び図書館機能の拡充と窓口の円滑なサービスを行い、学習活動環境の充実を図る。				
令和4年度目標	1人当たりの貸出冊数 6.2冊				
令和4年度実績等	◇1人当たりの貸出冊数 5.5冊 ◇入館者数 67,715人 ◇図書貸出数 104,889冊（一般 41,998 児童 50,065 雑誌 5,393 AV 7,433） ◇図書購入状況 図書 1,721冊 雑誌 605冊 AV資料 47点 ◇蔵書状況 110,777冊（一般 71,788 児童 33,043 雑誌 3,537 AV 2,409）				
令和3年度実績等	◇1人当たりの貸出冊数 5.9冊 ◇入館者数 69,175人 ◇図書貸出数 114,170冊（一般 45,967 児童 54,575 雑誌 5,588 AV 8,040） ◇図書購入状況 図書 1,790冊 雑誌 646冊 AV資料 55点 ◇蔵書状況 110,175冊（一般 71,493 児童 32,778 雑誌 3,558 AV 2,346）				
課題及び今後の取り組み	電子図書館を積極的にPRし、利用者拡大を図る。 多文化サービス拡大のため外国語資料を充実させる。 学校図書室との連携・支援を充実させ、児童生徒の読書活動を推進する。	評価	↑ 実現度	A	☆☆
				B	
				C	A
				重要度→ ☆R4 ★R3	

事業名	図書館活動推進事業		資料編	33頁									
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	方針	23 読書活動を推進します										
概要	学習活動環境の充実 図書館活動の推進を図るために、図書館ボランティアの自己啓発及び育成とともに、読書普及活動を行う。また、乳幼児期から本に親しんでもらうためブックスタート事業を推進する。												
令和4年度目標	イベント参加人数 5,000人												
令和4年度実績等	◇ブックスタート事業（24回開催）	193人	参加者数合計 6,232人										
	◇おはなし会（105回開催）	1,804人											
	◇イベント（よみん祭、新春イベント等）	4,235人											
令和3年度実績等	◇ブックスタート事業（24回開催）	197人	参加者数合計 5,642人										
	◇おはなし会（75回開催）	848人											
	◇イベント（よみん祭、新春イベント等）	4,597人											
課題及び今後の取り組み	引き続き感染対策を施し、各種イベントを積極的に実施する。第3次子ども読書活動推進計画に基づいた取り組みを進める。ボランティアの確保と育成を引き続き行う。	評価	↑ 実現度	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td></td> <td>☆☆</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>重要度→ ☆R4 ★R3</p>	A		☆☆	B			C	B	A
A		☆☆											
B													
C	B	A											

Ⅲ 外部評価委員（学識経験者）の意見

湖西市教育委員会の自己点検・評価に対する学識経験者による知見の活用は、教育に関し学識経験を有する方に依頼した。

外部評価委員の方々のお名前及び主な御意見、御助言は、次のとおりである。

外部評価委員名簿

(50音順 敬称略)

氏 名	所 属 等
渥 美 真寿美	令和5年度小中学校PTA連絡会会長
加々谷 香	スポーツ推進委員
佐 原 陽 子	教育委員経験者
竹 島 清 一	学校運営協議会代表
吉 原 靖 則	学校長経験者

外部評価委員会実施日

- ・ 令和5年10月31日（火）
- ・ 令和5年11月14日（火）

<自己点検・評価報告書全体>

○市民への情報発信の仕方を工夫したらどうでしょうか。多くの事業を行っているのに市民に伝わっていないのは残念だと思います。

○各課とも計画的かつ効果的に予算が使われていると思います。

○コロナ禍の影響が少しずつ薄らぐなかで、各事業をコロナ禍前に戻すのではなく、今後も継続・廃止・改善等に取り組んでいただきたいと思います。

<P10 放課後児童健全育成事業費>

○目標が登録児童数となっていますが、支援員や補助員の実態がどうなっているのか、安全安心な場を提供できているのかなどを評価の対象にした方がよいと思います。

<P11 事務局関係経費>

○円滑な学校運営のため、教育支援員など会計年度任用職員の雇用を今後も継続し、できれば増員していただきたいと思います。

○学校関係の各種負担金を継続していただくことを要望します。

<P11 豊田佐吉翁記念奨学金事業費>

○優良な生徒であって、経済的理由により就学が困難な学生に対するこの奨学金制度はとても素晴らしいと思います。佐吉翁の想い（報恩創造）の精神のもと今後も「こころざしある“ひと”」「未来の湖西を創る“ひと”づくり」の教育理念をもとに事業を継続していくことを望みます。

<P12 教育施設整備費>

○給食センター整備をしっかりと進めていただきたいと思います。

<P13 教育施設管理費>

○大規模修繕は計画的に進められていますが、各学校・園における修繕についても迅速に対応できるように、今後も予算確保に努めていただきたいと思います。

<P13 学校管理運営費>

○GIGAスクール構想の1人1台のタブレットPC購入、高速インターネット回線導入が進み環境が整備され支援体制も整えられています。更に校内のどこでも高速インターネットが利用できるようにすると共に、教職員も児童生徒も有効に活用できるよう、ICT支援体制をより一層強化していただきたいと思います。

<P14 小学校施設整備費>

○トイレを学校でしないで帰ってくる子がいるという話を聞いたことがあります。トイレの洋式化に時間と財源を要するのは理解できますが、なるべく早く整備を進めていただきたいと思います。

○小中学校再編の議論がされていますが、対象学校においても安全対策は考慮していただきたいと思います。

<P14・15 教育扶助費>

○とても大切な事業だと思います。利用者は増加傾向にあるということですが、対象費目の拡大や効果的な支給時期など、柔軟に対応していただきたいと思います。

<P18 教育指導関係経費>

○教員の配置には制限があるため、特別支援教育推進事業では、支援員の更なる増員に尽力していただければと思います。

○児童生徒の多様性を重視して、性別、国籍、発達の違いも同じ空間で対応できるように教職員の数を増やしていただくことを望みます。

○担任の先生だけでなく、支援員も含めた先生同士が協力しあって、教え合い、つながり、ゆとりをもって仕事ができる環境、先生方も心も体も健全である教育環境であることを願います。

○語らい読書推進事業の巡回図書はとてもいいシステムだと思います。今後も継続していただきたいと思います。

○外国人児童生徒支援事業については、どの学校にも外国人児童生徒が在籍する状況となり、対応も難しくなっています。通訳員や自動翻訳機などで解決できるような範疇のもでなくなっていると想像します。多文化共生や市民相互理解の観点からも、もっと教育委員会として外国人児童の学習サポートをするべきではないでしょうか。

○不登校児童生徒適応教室について、児童生徒の親にはこのような場があることをどのように発信しているのでしょうか。

入室児童生徒の年齢もバラバラだと思いますが、対応も一人一人に寄り添っていただいているのでありがたいと思います。

<P19 指導資料作成事業>

○小学校副読本「わたしたちの湖西」は、指導資料として画像や絵図が多く工夫されています。その分、教職員にかかる負担が大きくなるように、改定委員会の運営方法、日程の組み方等分かる範囲で具体的に示されるとよいと思います。

<P20 研究指定事業費>

○「特色ある学校づくり」推進事業なのに、目標が「学校の授業がわかると答える児童と生徒の割合」であるのは違和感を感じます。授業がわかる割合の設定を目標とするなら、教育指導関係経費の目標になるのではないのでしょうか。特色ある学校づくりでそれぞれの学校がどのようなことを実施したのかが実績であるべきではないのでしょうか。

○第2次湖西市教育振興基本計画の方針12に「国際理解教育を推進します」とあるように、外国人児童のルーツである国の理解をする機会となるような「National day」のようなことを湖西市の学校全部でやらどうでしょうか。相互理解を深めることが、いじめや不登校を減らす

一歩となると思います。

<P23 幼稚園教育指導関係経費>

○課題にも記載されていますが、特別支援教育支援員のスキル向上、増員が図られるとよいと思います。

○特別支援教育支援員は、専門の勉強や講習を受けた方でしょうか。専門的な知識がないと対応が難しいのではないかと思います。

<P24 公立幼稚園管理運営費>

○白須賀幼稚園の閉園後の施設利用については、どうなるのか周知いただきたいと思います。

<P26 生涯学習推進費>

○コロナ禍の影響が残っていますが、講座や事業への参加者が増加傾向にありよいことだと思えます。5類移行に伴い、更にコロナ禍以前の状況に戻ると思いますが、今後も事業の維持・向上を図っていただくようお願いします。

○昨年度、岡崎小学校と白須賀小学校でわくわく子ども教室のスタッフが、お互い助け合うことによって活動内容の充実、スタッフの確保、材料費の削減などの改善が行われました。活動内容を市全体で大きく計画し、そのうえで各教室の特徴を生かしていくようにすれば、負担軽減と活動が活性化するのではないかと思います。また、他の取組みでも連携によって解決することがあるのではないかと感じました。

○学校支援本部事業では全校実施を目指していただきたいと思えます。

○ふたば学級、家庭教育学級の参加人数が少ないので、工夫して実施していただきたいと思えます。

<P28 青少年健全・育成センター活動費>

○地区街頭補導活動については、必要な地区とそうではない地区があるように思えます。補導員選出が難航する地区があるようなので、補導実績の現状から見直すのも良いのではないかと思います。

○ヤングダイヤル電話相談については、件数は多くはないが、今後も継続を望みます。

<P29 保健体育総務関係経費（社会体育振興事業）>

○ニュースポーツの普及活動を通して市民の「運動するきっかけづくり」ができればよいと思います。自治会との合同の催しや、子ども会、明湖会などお互いの利点を生かして共に実施するのもよい手段ではないでしょうか。

○各地域の施設を利用しやすくし、どんなことができるか提案し、用具の貸し出しなどを充実させて、年齢問わず多くの市民が運動や文化に触れる「居場所」があることを願います。

<P31～ スポーツ活動推進及び大会運営費>

○運動・スポーツに係わる子どもたちの二極化が全国的に言われています。市内の小学校でも部活動がなくなり心配しています。

○スポーツ少年団の活動も一部で盛んですが、気軽に運動に取り組める何か良い手立てがあればと思います。

○今後もスポーツイベントの開催、大会の継続をお願いします。

○湖西市在住、出身の優秀な競技者、指導者については新聞や「広報こさい」等で今後も積極的な紹介をお願いします。

○地域のスポーツ少年団はどんな団体があってどこに連絡すればいいのかわかるとありがたいです。

○棒高跳記録会が、全国でも数少ない公認の室内棒高跳び施設で開催されていることを初めて知りました。クラブチームなどの練習や合宿で施設や用具を活用してもらえようPRを図っていただき、ぜひ今後の目標にも入れて欲しいと思います。

<P35 文化振興関係経費>

○演劇やコンサートが開催できる施設が限られているので、新居地域センターの改修を機に活用方法の再考をお願いします。

<P35 文化財保護保存費>

○遺構のき損が確認されたとのことですが、文化財保護への対策を十分お願いします。

<P 36 白須賀宿歴史拠点施設管理運営費>

○公共施設再配置個別計画に基づき、機能移転場所を検討とありますが、白須賀の歴史拠点は白須賀にあるべきだと思います。

○今後の事業活動を支える人材確保をお願いします。

<P 39 図書館運営事業>

○学校図書室とのより具体的な連携・支援の充実を望みます。

○電子図書館の普及を望みます。

<P 40 図書館活動推進事業>

○図書館のイベントは色々なアイデアにあふれ、フォトスポットや季節の話題など、とてもいいイベントだと日頃から思っています。今後も続けていただきたいと思います。

IV 総合評価

令和4年度の教育委員会事業において、第2次湖西市教育振興基本計画の基本目標と方針に基づき実施した各事業について、適正に実施されていることを確認いただきました。

「厳しい財政事情の中、教育行政の課題解決に向けて着実に取り組む姿勢」等の評価していただき、さらなる充実と推進のための多くの御意見、御助言をいただきました。また、各事業において、コロナ禍からの脱却を目指し、コロナ禍前の水準で事業が実施できるように取り組んでいることについても評価をいただきました。

今後も評価で得られた外部の知見とともに、この点検・評価を生かし、第2次湖西市教育振興基本計画の基本理念である「未来の湖西を創る“ひと”づくり」にまい進してまいりたいと考えています。また、評価結果を公表することで、教育委員会に関する積極的な情報公開や教育委員会事務に対する説明責任を果たすことに努めてまいりたいと思います。

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、令和4年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を報告するものである。

令和5年12月

湖西市教育委員会 教育長 渡辺 宜宏